SHARP

デジタルオーディオプレーヤー

形名
MP-B200
MP-B300

取扱説明書

音楽を聴く

FMトランスミッター

ボイスレコーダー

FMラジオを聴く

設定メニュー

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味 絵表示の一例です。

⚠：この記号は気をつける必要があることを表しています。

🛇：この記号はしてはいけないことを表しています。

❗：この記号はしなければならないことを表しています。

本製品について

⚠ 警告

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってお買いあげの販売店に連絡する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

指定のACアダプターを使用する。
指定外のACアダプターを使用すると、火災・事故の原因になります。

本体や端子に針金などを差し込まない。
火災・感電・事故・故障の原因になります。

自動車を運転中に操作しない。
運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

安全のため、次の場所には取り付けない。

- エアバッグシステムの動作を妨げる場所
- 運転の妨げになる場所

⚠ 注意

製品を分解・改造しない。
火災・感電・けがの原因になります。

雨が当たる所や、風呂場・台所など水や液体がかかる所、湿気の多い所では使用しない。
火災・事故・故障の原因になります。

油煙や湯気が当たる所では使用しない。
火災・事故・故障の原因になります。

日の当たる自動車内、直射日光の当たる所、火や暖房器具のそばなど、高温(60℃以上)になる所に置かない。
火災・事故の原因になることや、変形・変色することがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂が入りやすい所で使用しない。
発火・故障の原因になることがあります。

miniSDカードの取り付け・取り外しをするときはカードの挿入口を顔のほうに向けない。
急に指を離すとカードが顔に向かって飛び出してくることがあります。

次のことをお守りください。内蔵されている充電池の発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

- 充電は必ず0〜40℃の範囲で行ってください。
- 充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。
- 使用した後は、必ず本製品の電源を切ってください。

ACアダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

本製品には、必ず付属のACアダプターEA-77を接続する。
EA-77以外のACアダプターを接続すると火災の原因になります。

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

ACアダプターはコンセントに直接接続する。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

ACアダプターを使うときは次のことを守る。
お守りいただかないと、火災や感電の原因になります。

- ぬれた手でAC アダプターを抜き差ししない 。
- ACアダプターを水や、ほかの液体につけたり、ぬらしたりしない。
- ACアダプターおよび本製品の上やそばに、液体の入った容器を置かない。倒れて水などがかかると、火災や感電の原因になります。
- お客様による改造や分解・修理は行わない。
- ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない 。
- ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしない。
- ACアダプターを抜くとき、コードを引っ張らない 。
- コードを傷つけたり、加工したり、破損させたりしない 。
- コードに重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしない。
- コードなどが傷ついたり破損しているACアダプターを使用しない。

⚠ 警告

ACアダプターを使用しないときは、コンセントおよび本製品から外しておく。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってお買いあげの販売店に連絡する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、本製品の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く。
落雷により、感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

次のことを守って使用する。
火災・感電・故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 周囲温度0〜40℃、湿度30〜80%の範囲で使用する 。
- 直射日光の当たる場所では使用しない。
  また、炎天下の車内、火や暖房器具のそばなど、高温になる所に置かない。
- ほこりの多い場所に置かない 。
- 重いものを載せたり、落下しやすい所に置かない 。
- 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- 布などでくるまない。
- 市販の「電子式変圧器」は使用しない。

ヘッドホンの取り扱いについて

⚠ 警告

事故を防ぐため、次のことを必ず守る。

- 自動車やバイク、自転車の運転中はヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

⚠ 注意

ヘッドホンで聞くときは音量の設定に気をつける。

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容が変化・消失する場合があります。
録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずコピー(バックアップ)してください。(120ページ)

ご注意

- お客様が録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

もくじ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品本体をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ACアダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくために次のことは必ずお守りください。

取り扱いのご注意

持ち運ぶときは

- ズボンのポケットに入れたり、満員電車などで強く押されるような所に入れたりしないでください。
  製品に強い力が加わり、変形や故障、破損の原因になります。

取り扱いはていねいに

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

他の機器との接続について

- 本製品に接続して使用する機器の取扱説明書もよくお読みください。また、取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保存しておいてください。

屋外で使用する場合のご注意

雨天での使用

- 雨天・降雪中など、ぬれる恐れのある場所では使用しないでください。

海辺での使用

- 砂浜や砂地など、砂ぼこりの多い所に置いたり、使用したりしないでください。内部に砂などが入ると故障や発火の原因になります。

使用場所のご注意

日本国内でご使用ください

- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。
  海外ではご使用にならないよう、お願いいたします。

高温や低温の場所では使用しない

- 周囲の温度は0℃～40℃、湿度は30%～80%の範囲内でお使いください。

電磁波の強い場所や機器の近くでは使用しない

- 高圧線や携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くで録音すると雑音が入りますので使用しないでください。

病院や飛行機の中では電源をお切りください

- 病院や飛行機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、電源をお切りください。
  事故の原因になる恐れがあります。

保管場所のご注意

磁気にご注意

- 本製品に磁石・電気時計・磁石を使用したおもちゃなど、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が消えることがあります。

FMトランスミッターについて

本製品のFMトランスミッター機能は電波法上、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。このため、

・アンテナの種類や形状
・設置環境（車の場合、車種およびアンテナが設置されている場所）
・周囲環境（車の場合、走行環境を含む）
・混信などの電波環境

などに影響されやすく、ノイズ、音のひずみ、音の途切れ、受信困難などの状況が発生する場合があります。
本製品に同梱のヘッドホンのコードはFMトランスミッター使用時のアンテナを兼ねていますので、ヘッドホンをしっかり接続し、コードを伸ばしてご使用ください。

FMトランスミッター機能は日本の法律に基づき、日本国内で使用されることを前提として設計されています。

海外でのご利用はその国の法律に抵触する場合がありますので、海外ではご利用にならないようにお願いいたします。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなります。また、本製品のFMトランスミッター機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することも、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害するおそれがあります。上記のような利用方法は、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Celeronは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

本書の読み方

本書で使用している記号について

ご注意　故障の原因になる注意事項を記載しています。

参考　参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

ボタンの表示について

ボタンを枠で囲んで表記しています。

例） MENU を長押ししてモード選択画面を表示させます。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目などを「　」で囲んで表記しています。

例）「続きから再生」を選びます。

※画面例は、白黒反転で記載しています。

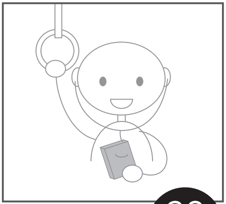
はじめに

本機の特長

お出かけに

音楽を手軽に持ち歩く

本機に内蔵されたメモリに音楽を録音でき、メモリに録音しきれなかった分は市販のminiSDカードに録音して持ち出すこともできます。CDやMDでかさばることなく、たくさんの音楽を楽しむことができます。



38ページ

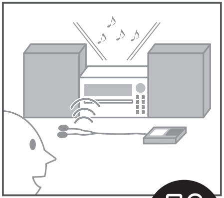
こんなときに

- 電車やバスでの移動中に
- 多くの音楽を持ち歩きたいとき

車やお部屋で

FMトランスミッター機能を使って音楽を楽しむ

録音した音声を、ワイヤレスでFMラジオに送信できます。カーオーディオやお部屋のオーディオ機器で、お気に入りの音楽を楽しめます。



76ページ

こんなときに

- 本機に録音した音楽をスピーカーなどで楽しみたいとき
- 車にFMラジオはあるけど、CDやMDが聞けないとき

お手持ちのオーディオ機器で

パソコンいらずのダイレクト録音

本機とMDプレーヤーなどのオーディオ機器を、付属のケーブルで直接接続して録音できます*。パソコン操作なしで好きな音楽を録音できます。



56 ページ

こんなときに

- 直接オーディオ機器から本機に録音したいとき
- 録りためたMDやカセットテープの音楽を本機に移したいとき

* 接続する機器によっては市販のケーブルが必要になる場合があります。

打ち合わせ時やアイデアを思いついた時に

ボイスレコーダーとして使う

内蔵マイクを使って、音声などを録音することができます。



82 ページ

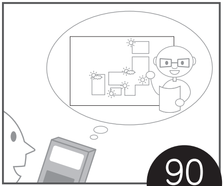
こんなときに

- 打ち合わせの備忘録として
- メモしておきたいことを声で録音し、ボイスメモとして使いたいとき

外出時に

FMラジオ放送を楽しむ

76.0MHz～90.0MHzのFM周波数帯でFMラジオ放送を楽しむことができ、録音することもできます。



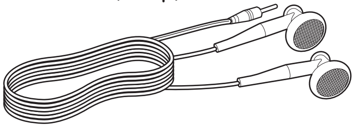
90 ページ

こんなときに

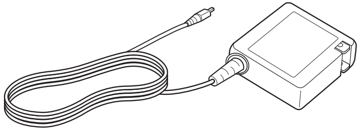
- 最新音楽のチェックやスポーツ観戦に
- 外出時・災害時の携帯用ラジオとして

付属品を確認しましょう

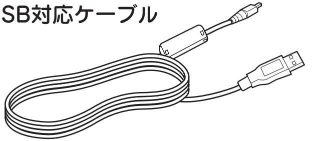
ヘッドホン（3.5φ）



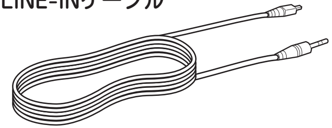
ACアダプター（EA-77）



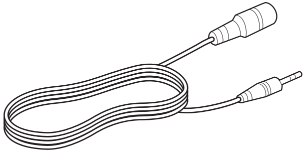
USB対応ケーブル



LINE-INケーブル



ヘッドホン変換ケーブル（2.5φ－3.5φ）
付属のヘッドホン（3.5φ）を使うときに、このヘッドホン変換ケーブルを使用します。



CD-ROM（Microsoft®Windows® 98 Second Edition用USB対応ドライバ、音楽CDデータ転送ソフト）



取扱説明書（保証書付）

クイックスタートガイド

充電のしかた

本機を使用するときは、内蔵の充電池を最初に充電する必要があります。

- ACアダプターは付属のEA-77をお使いください。

ACアダプターで充電する

1 **本機の電源が切れていることを確認します。**

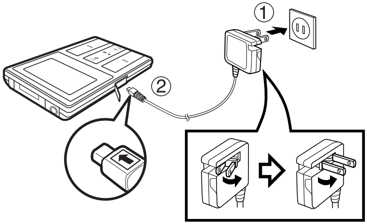
切れていない場合は、本体右側の HOLD/POWER をPOWER側に約3秒間スライドさせて電源を切ります。

2 **ACアダプターをコンセントに差し込みます。（①）**

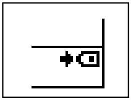
3 **本体左側面のカバーを下図のように開けて、ACアダプターのプラグを本機に接続します。（②）**

ACアダプターのプラグの ⬆ マークがある面を上に向けて差し込みます。

画面右下に ✚▭ が表示(充電中画面)され、充電が始まります。



画面右下の表示



充電が開始されないときは、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。

※ 本体左側面のカバーは、強く引っぱると外れるようになっています。
外れたときは元通り取り付けてください。

4 満充電になり、充電が終了すると  が  に変わります。

通常、約4時間で満充電になりますが、使用温度や使用状況により変動します。

5 充電が終了したら、下記のとおりにACアダプターを外します。

ご注意

- ACアダプターを外すときは、必ず本機の電源を切り、本機からプラグを抜いた後、コンセント側を抜いてください。正しく抜かないと、 バックライトだけが点灯して何も表示されないなど、正常に動作しないことがあります。バックライトだけが点灯しているときは HOLD/POWER で電源の入／切を行えば正常に戻ります。
- ACアダプターのプラグを逆向きに差し込まないでください。故障の原因になります。

参考

- **充電池について**
  本体内蔵の充電池は、満充電後まったく使用しない場合でも自然放電により電圧が低下します。長期間使用しないときは、定期的に(約2ヵ月に1回程度)充電することをおすすめします。
- パソコンに接続して充電することもできます。(31ページ)

充電池の残量の目安

充電池の残量は、画面右下に表示される電池マークを目安にしてください。

：良好です。

：すこし少なくなりました。

：少なくなりました。充電することをおすすめします。

：とても少なくなりました。充電してください。

ACアダプターで使用する

ACアダプターを正しく接続し、HOLD/POWERで電源を入れれば、充電しながら本機を使用することができます。

注：充電状態によっては、すぐ使用できないことがあります。このときは、10分程度待ってから、もう一度、電源を入れ直してみてください。

ご注意

- ACアダプターを接続して音楽プレーヤー／FMラジオ／ボイスレコーダーを使用すると、電源の状態によっては再生／録音時にノイズが入る場合があります。
- 録音中にACアダプターを抜くと、録音中のデータが壊れたり記録されないことがあります。
- ACアダプターを接続した状態ではダイレクト(LINE-IN)録音ができません。

参考

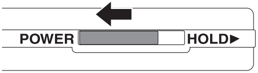
- 充電中や長時間使用しているときは、ACアダプターや本体が温かくなりますが、故障ではありません。
- ACアダプターを接続した状態で電源を切ると、いったん画面が消えた後、充電中の画面が表示されます。

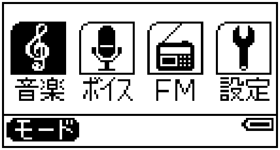
電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れているとき、本体右側の HOLD/POWER をPOWER側にスライドさせます。

電源が入り、モード選択画面が表示されます。

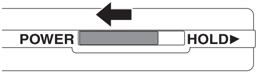




電源を切る

1 電源が入っているとき、本体右側の HOLD/POWER をPOWER側に約3秒間スライドさせます。

電源が切れます。

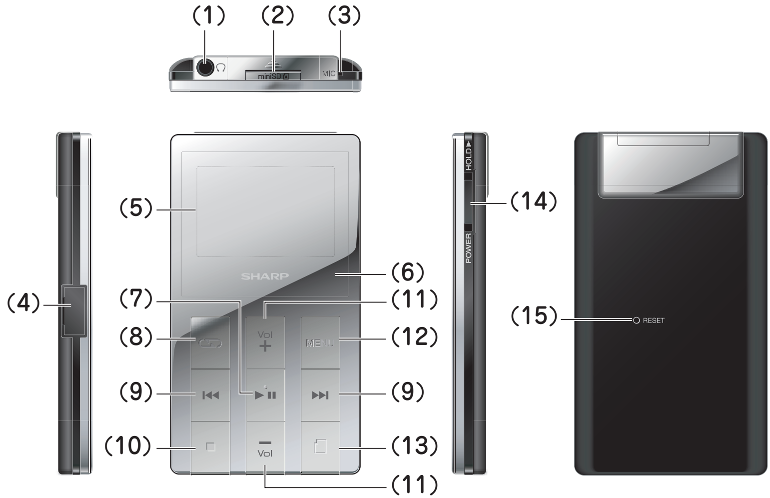


画面が見えにくいときは

表示部に太陽光などの強い光が当たると、画面が見えにくくなります。このようなときは、建物の影になった場所に移動するか、表示部を手でおおって表示部に影がかかる状態にすると見やすくなります。

また、表示部の明るさを調整してみてください。（108ページ）

各部のなまえとはたらき



(1) ヘッドホン端子

ヘッドホン(付属)を接続したヘッドホン変換ケーブル(付属)を差し込みます。

ヘッドホンは、音楽を聴く以外に、FMラジオやFMトランスミッターのアンテナになります。

ヘッドホンのプラグは、奥までしっかりと差し込んでください。

(2) miniSDカードスロット

miniSDカード(市販)を差し込みます。

miniSDカードに録音したり、miniSDカードに録音した音楽を聴いたりできます。

miniSDカードと本体メモリ間でデータを移動することもできます。

(3) 内蔵マイク

ボイスレコーダーで音声を録音するときに使用します。

(4) ACアダプター／LINE-IN／USB対応ケーブル接続端子

- 本機を充電するときは、ACアダプターを接続します。
- 音楽をダイレクト録音するときは、付属のLINE-INケーブルを接続します。
- 本機をパソコンと接続するときは、USB対応ケーブルを接続します。

(5) 表示部

(6) LED表示

省電力モードをオンにしているときに本機の動作状況によってLEDがオレンジ色に点滅・点灯します。
曲／音声の再生時／FM放送受信中：1秒間隔で点滅
曲／音声の録音時：点灯
上記以外の状態のときは白色に点灯します。

(7) ▶II ボタン

- 音楽や音声を再生／一時停止します。
- 音楽や音声の再生時に長押しすると、再生速度を変えることができます。（再生速度切換がオンの場合。71ページ）
- オーディオ機器からのダイレクト録音、ボイスレコーダー、FM放送受信時は録音／一時停止ボタンとしてはたらきます。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと、選ばれている項目が決定／実行されます。

(8) ⟲ ボタン

- 再生をくり返したり、順不同に再生したりするモードに切り替えます。
- ボイスレコーダー使用時／FM放送受信時に押すと、再生リストが表示されます。

(9) I◀◀ ボタン

- 再生中に押すと、曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押すと、前の曲の先頭に移動します。
- 再生中、押したままにすると、曲を巻き戻しします。

- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
- モード選択画面でモードを選ぶときに押します。

[⏭] ボタン

- 再生中に押すと、次の曲の先頭に移動します。
- 再生中、押したままにすると、曲を早送りします。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと、選ばれている項目が決定されます。
- モード選択画面でモードを選ぶときに押します。

(10) [■] ボタン

再生または録音を停止します。

(11) [Vol +] ボタン

- 音量が大きくなります。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと、ひとつ上の項目が選ばれます。

[− Vol] ボタン

- 音量が小さくなります。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと、ひとつ下の項目が選ばれます。

(12) [MENU] ボタン

- 本機の状態に応じて、いろいろなメニュー画面が表示されます。
- 長押しすると、モード選択画面が表示されます。

(13) [カード] ボタン

miniSDカードを差し込んでいる場合、使用するメモリ（本体メモリ／miniSDカード）を選びます。

(14) [HOLD/POWER] スイッチ

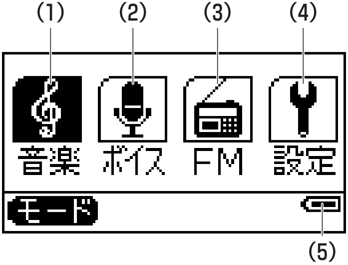
- HOLD側にスライドさせてロックすると、本機がボタン操作を受け付けなくなります。誤ってボタンが押され、動作することを防ぎます。解除するには、スイッチのロックを外します。
- POWER側にスライドさせると、電源の入／切ができます。

(15) RESETスイッチ

正常に表示しない、正しく操作できないなどの異常が発生したときにボールペンなどで押します。（125ページ）

表示画面の見かた

モード選択画面



この画面は、電源を入れてしばらくすると表示されます。

1 **[MENU]を長押しします。**
モード選択画面が表示されます。

2 **[▶▶I]、[I◀◀] でモードアイコン(絵)を選び[▶II]を押すと、各モードの画面になります。**

各モードについて

(1) 音楽モード：
パソコンから取り込んだ音楽データなどを再生したり、LINE-IN端子から音楽などを録音したりするモードです。

(2) ボイスレコーダーモード：
ボイスレコーダーとして、音声を録音するモードです。

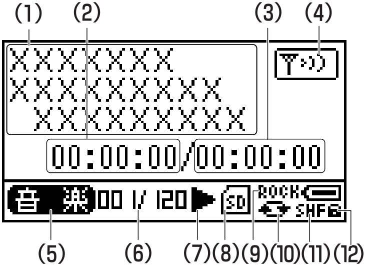
(3) FMラジオモード：
FMラジオとして、FM放送を聴いたり、録音したりするモードです。

(4) 設定モード：
本機の全体に関係する設定を行うモードです。

(5) 電池マーク：
充電池の残量の目安を示すマークです。(19ページ)

表示画面について
本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

再生画面など



音楽などを再生をするときに表示される画面です(ただし、一部省略しています)。

(1) アーティスト名・アルバム名・曲名

(2) 現時点の再生時間

(3) 全体の再生時間

(4) FMトランスミッター送信状態

(5) モード表示

音 楽　ボイス　FM

(6) 曲番/曲数表示

Vol＋、－Vol を押すと音量表示



(7) 動作状態

▶：再生(標準)　●：録音
L▶：再生(遅)　❚❚：一時停止
H▶：再生(速)　◀◀：巻戻し
■：停止　▶▶：早送り

(8) miniSDカード使用状態

SD：miniSDカード挿入状態

SD：miniSDカードに設定している状態

(9) イコライザー表示

NOR：ノーマル　CLAS：クラシック
JAZZ：ジャズ　POP：ポップ
ROCK：ロック　BASS：バス

(10) リピート再生状態

：1リピート
：オールリピート

(11) シャッフル再生状態

(12) ホールド状態

再生、録音、設定モードのメニューについて

MENU を押すと、本機の状態に応じて、いろいろなメニューが表示されます。たとえば、ボイスレコーダーの録音待機中画面で MENU を押すと、「録音レベル」、「録音音質」のメニューが表示され、録音レベルや録音音質の設定が可能になります。
下の図は、再生、録音、設定の各モードで表示されるメニューをまとめたものです。（本機の状態によっては、表示されないメニューがあります）

音楽モード

再生前・再生中

- 再生
- イコライザー
- リピート
- シャッフル
- 再生速度切替
- お気に入りに追加
- FMトランスミッター
- 削除
- リストから削除
- 移動

録音待機中

- 録音レベル
- 録音音質
- シンクロ録音

ボイスレコーダーモード

再生前・再生中

- 続きから再生
- イコライザー
- リピート
- 再生速度切替
- FMトランスミッター
- 削除
- 移動

録音待機中

- 録音レベル
- 録音音質

FMラジオモード

FM放送受信中

- オートプリセット
- プリセット保存
- プリセット呼出
- プリセット設定削除
- ステレオ
- 録音レベル
- 録音音質

録音したFM放送を再生前・再生中

- 続きから再生
- イコライザー
- リピート
- 再生速度切替
- FMトランスミッター
- 削除
- 移動

設定モード

設定

- オートパワーオフ
- スリープタイマー
- 省電力モード
- 明るさ
- 設定の初期化
- 製品情報

miniSDカードを使う

miniSDカード(市販)に録音することで、本体メモリに録音しきれない音楽を手軽に持ち歩くことができます。

本機で使えるminiSDカードについて

この製品では、128MB～2GBの容量のminiSDカードが使用できます。当社推奨のminiSDカードをご利用ください。
動作確認ができているカードについては、サポートページ(http://www.sharp.co.jp/support/mp/index.html)でご確認ください。サポートページがご覧頂けない場合は、裏表紙のお客様相談センターへお問い合わせください。
容量が128MB以下のminiSDカードや、一部のminiSDカードは正しく動作しないことがあります。あらかじめご了承ください。

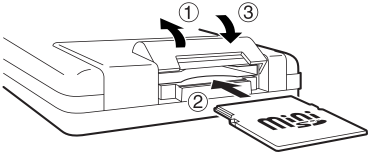
miniSDカードを差し込む

参考

- miniSDカードは、本機の電源が入った状態でも差し込めます。

1 **本体上面のminiSDカードスロットのカバーを開けます(①)。**

2 **miniSDカードの表面が本機の背面を向くようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます(②)。**



miniSDカードが差し込まれると、画面下部に SD が表示されます。

3 **miniSDカードスロットのカバーを閉じます(③)。**

ご注意

- miniSDカードスロットのカバーを図の方向以外に無理に開閉しないでください。故障の原因になります。
- miniSDカードは、必ず図の向きに差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、故障の原因になります。

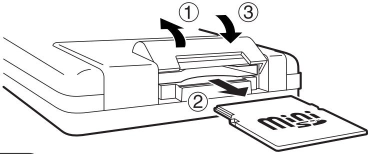
miniSDカードを取り出す

1 **miniSDカードを使って録音/再生していないことおよびファイルの削除中/移動中でないことを確認します。**

2 **本体上面のminiSDカードスロットのカバーを開けます(①)。**

3 **miniSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、miniSDカードが出てきますので取り出します(②)。**

4 **miniSDカードスロットのカバーを閉じます(③)。**



※カードの取り付け、取り外し時に、爪でカードを弾くように指を離すと、カードが飛び出すことがありますので、ゆっくり押して、ゆっくり離してください。

ご注意

- miniSDカードを使って録音/再生しているときおよびファイルの削除中/移動中は、miniSDカードを取り出さないでください。録音/再生中およびファイルの削除中/移動中に取り出すと、故障の原因になったり、miniSDカードや音楽データが破損することがあります。

パソコンと接続する

パソコンと接続することで、パソコンから本機に音楽データを取り込んだり、本機で録音した音楽データをパソコンにコピー(バックアップ)したりすることができます。

必要なパソコンのシステム構成

音楽データの取り込みなどを行うには、以下のシステムが必要です。

対応機種	IBM PC/AT互換機
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® Millennium Edition Microsoft® Windows® 98 Second Edition
その他	USBインターフェース、CD-ROMドライブ

Windows® 98 Second Editionをご使用の場合は

1 **CD-ROM(付属)のUSB対応ドライバをインストールします。(34ページ)**

2 **本機とパソコンを接続します。(31ページ)**

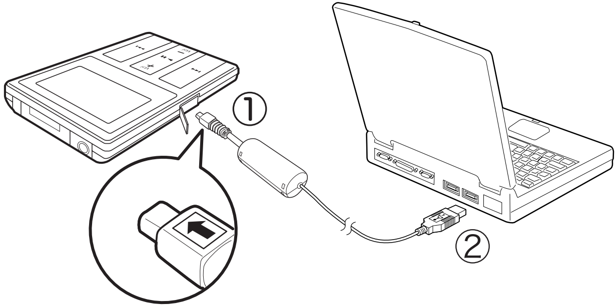
パソコンと接続する

1 **パソコンの電源を入れます。**

2 **USB対応ケーブル(付属)を使って、図の①②の順に本機とパソコンを接続します。**

本機に差し込む(①)ときは、コネクタの ⬆ と記されている面を上に向けて差し込みます。

接続すると、本機の表示部に「**LINK**」(接続中)と表示されます。



ご注意

- USB対応ケーブルが差し込みにくいときは、コネクタの向きを確認してください。誤った向きで無理に差し込むと、故障の原因になります。
- 「LINK」表示中は、本機のすべてのボタンが無効になります。ボタン操作をしないでください。
- 音楽データの取り込み中にUSB対応ケーブルを抜かないでください。本機に保存しているデータが破損することがあります。

参考

- 本機をUSBメモリとして使用することができます。本機にminiSDカードを差し込んでいるときは、miniSDカードは2つめのリムーバブルディスクとして認識されます。
- パソコンの電源を通して、充電も同時に行われます。満充電になると自動的に充電が終了します。

パソコンから取り外す

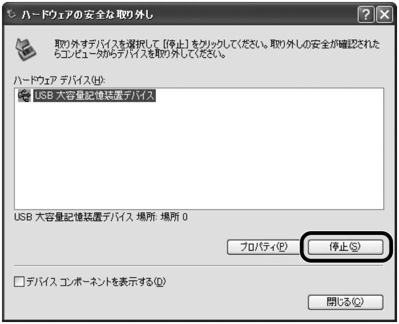
Windows® XPを例に説明します。

Windows® XP以外のOSをご使用の場合は、Windowsのヘルプや解説書(市販)をご覧ください。

1 パソコン画面のタスクトレイの  (ハードウェアの安全な取り外し)をダブルクリックします。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2 「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックして選択し、[停止]をクリックします。



「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「SHARP Digital Audio USB Device」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。

4 「ハードウェアの安全な取り外し」画面で[閉じる]をクリックします。

5 パソコンから本機を取り外します。

取り外すと、本機の電源は自動的に切れます。

参考

- 本機からUSB対応ケーブルを抜いても、「LINK」表示が消えないことがまれにあります。この場合は、裏面のRESETスイッチをボールペンなどで押してから、HOLD/POWERをPOWER側にスライドさせて電源を入れてください。

付属プログラムをインストールする

CD-ROM（付属）には、パソコンと組み合わせて本機を快適にお使いいただくためのプログラムが収録されています。

付属プログラムの種類とおもな働き

音楽CDデータ転送ソフト

音楽データを本機に取り込むためのソフトです。
パソコンに音楽CDをセットすると、自動的に本機に音楽データが転送されますので、パソコン操作に不慣れな方におすすめします。

※このソフトはMicrosoft® Windows® XP Home Edition およびMicrosoft® Windows® XP Professional以外のOSではインストールできません。

USB対応ドライバ

Windows® 98 Second Edition専用のUSB対応ドライバです。
本機をパソコンと接続する前にインストールしてください。
他のOSをご使用の場合はインストールしないでください。

音楽CDデータ転送ソフトの動作に必要なパソコンのシステム構成

対応機種	IBM PC/AT互換機
OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Professional
CPU	Intel® Celeron® 500MHz以上
HDD	20MB以上の空き容量
メモリ	256MB以上
ディスプレイ	SVGA(800×600ドット)以上およびハイカラー(65,536色)以上の解像度を持つカラーディスプレイ
その他	USBインターフェース、CD-ROMドライブ、マウス、 Windows Media® Player 10、 Adobe® Acrobat® Reader™、またはAdobe® Reader™

参考

- インターネットに接続できる状態であれば、Windows Media® Player 10は、CD-ROM(付属)のセットアップ画面からダウンロードしてインストールすることもできます。
- インターネットに接続できる状態であれば、音楽CDから音楽データを取り込んだ場合に、インターネットから情報を取得して自動的に曲名などを付加することができます(情報のない曲もあります)。

インストールのしかた

1 パソコンのCD-ROMドライブにCD-ROM（付属）をセットします。

セットアップ画面が表示されます。

この画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」画面の「CDドライブ」をダブルクリックして開き、「installer.exe」をダブルクリックしてください。



2 画面上のボタン（[音楽CDデータ転送ソフトのインストール]など）をクリックします。

インストールが始まりますので、画面の指示に従ってください。

3 インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

必要に応じてパソコンを再起動してください。

同じ操作で必要なソフトをインストールします。

これでソフトのインストールは完了です。

参考

- パソコンにWindows Media® Player 10がインストールされていないときは、音楽CDデータ転送ソフトをインストールできません。パソコンがインターネットに接続していることを確認した後、[Windows Media® Playerのダウンロード]をクリックします。Windows Media® Playerのダウンロードページが表示されますので、表示されたページからWindows Media® Player 10をダウンロード、インストールしてからあらためて音楽CDデータ転送ソフトをインストールしてください。

音楽CDデータ転送ソフトを使うときは

「音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む」(41ページ)をご覧ください。

音 楽

を聴く

音楽を聴く前の準備

パソコンを使って録音する場合

音楽データ転送ソフトを使ってデータを取り込む（41ページ）

▼

パソコンと本機を接続します。（31ページ）

▼

パソコンに音楽CDをセットします。（42ページ）

▼

音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを転送します。（42ページ）

▼

Windows Media® Player を使って音楽データを取り込む（44ページ）

▼

パソコンと本機を接続します。（31ページ）

▼

パソコンに音楽CDをセットし、音楽データをパソコンに取り込みます。（49ページ）
または、音楽サイトから音楽データを購入します。

▼

Windows Media® Player を使って音楽データを転送します。(52ページ)

▼

パソコンを使わずに録音する場合

CD/MDプレーヤーなどからダイレクト（LINE-IN）録音する（56ページ）

▼

お持ちのオーディオプレーヤーに音楽CDやMDなどをセットします。

▼

お持ちのオーディオプレーヤーのヘッドホン端子と本機のLINE-IN端子を接続します。（56ページ）

▼

音楽を再生し、本機で録音します。（57ページ）

▼

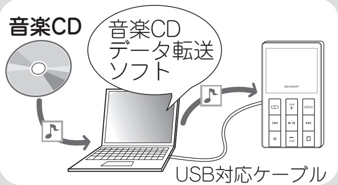
これで音楽を聴くことができます！

音楽を録音する

3種類の録音方法があります。

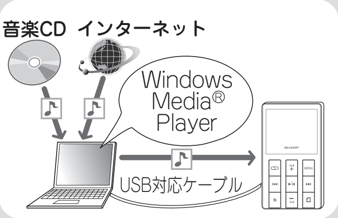
音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む

パソコンを使って音楽CDに収録されている音楽データを、簡単な操作で本機に取り込むことができます。



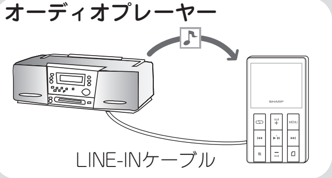
Windows Media® Playerを使って音楽データを取り込む

Windows Media® Playerを使って音楽CDからパソコンにデータを取り込んだ後、本機に取り込むことができます。
インターネットの音楽サイトから音楽データを購入した場合も、この方法で本機に取り込みます。



CD/MDプレーヤーから録音する

LINE-INケーブル（付属）を使って、お手持ちのオーディオ機器から本機に直接録音することができます。



音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む

ここでは、ほとんどの操作が自動化される「自動転送」機能を使った取り込み方法を説明します。

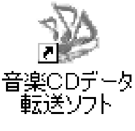
参考

- 「自動転送」では本体メモリへの転送しか行えません。miniSDカードへ転送したい場合は、「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をご覧ください。「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」ー「SHARP音楽CDデータ転送ソフト」-ー「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をクリックすると表示されます。
- パソコンでインターネットに接続できることを確認してください。音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが、インターネットを通じて自動的に取得されます。
- コピー防止機能を備えた音楽CDは取り込めません。

1 パソコンの電源を入れます。

2 本機とパソコンを接続します。(31ページ)

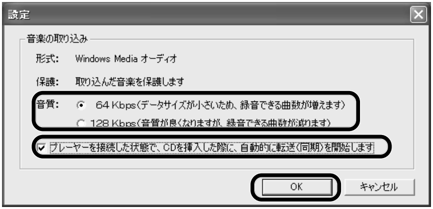
3 パソコンのデスクトップの  [音楽CDデータ転送ソフト]をダブルクリックします。





音楽CDデータ転送ソフトが起動します。

初めて起動したときは、設定画面が表示されます。好みに応じて音質を設定し、「プレーヤーを接続した状態で…」にチェックマークを入れ、[OK]をクリックしてください。



4 パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDをセットします。

約5秒後、転送を開始する確認画面が数秒間表示された後、自動的に音楽データが本機の本体メモリに転送されます。
転送が完了するまで、しばらくお待ちください。
転送が完了すると、確認画面が数秒間表示され、自動的に消えます。

5 [閉じる]をクリックして音楽CDデータ転送ソフトを終了します。

6 本機をパソコンから取り外します。(32ページ)

これで音楽データの取り込みは完了です。

音楽CDデータ転送ソフトの詳しい使い方は

音楽CDデータ転送ソフトは、曲を選んで転送したり、曲名を編集したりすることもできます。
音楽CDデータ転送ソフトの詳しい使い方は、「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をご覧ください。
[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」ー「SHARP音楽CDデータ転送ソフト」ー「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」をクリックすると表示されます。

参考

- 「音楽CDデータ転送ソフトの使いかた」を見るには、Adobe® Acrobat® Reader™またはAdobe® Reader™が必要です。必要に応じて、アドビシステムズ社のサイト(http://www.adobe.com/jp)からダウンロードしてインストールしてください。

Windows Media® Player を使って音楽データを取り込む

Windows Media® Player 10の設定をした後、パソコンに音楽CDの音楽を取り込み、取り込んだ音楽データを本機、またはminiSDカードに転送します。

Windows Media® Player 10の設定をする

本機にうまく音楽を取り込むためには、Windows Media® Player 10を正しく設定する必要があります。この設定は初めて音楽を取り込むときや、本機をフォーマットしたときに必要です。次回からは必要ありません。

1 **パソコンの電源を入れます。**

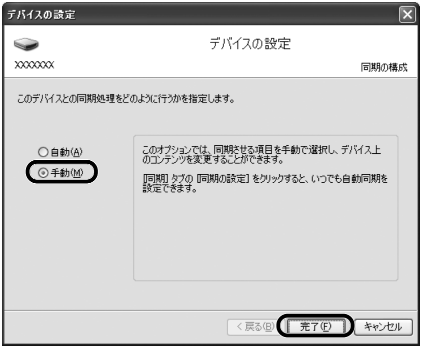
2 **本機とパソコンを接続します。(31ページ)**

3 **[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」—「Windows Media Player」をクリックします。**

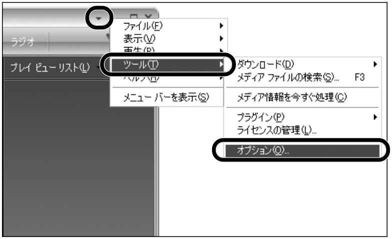
Windows Media® Player 10が起動します。

しばらくすると、デバイスの設定画面が表示されます。

4 「手動」をクリックして選び、［完了］をクリックします。



5 画面右上の ▼（アプリケーションメニューにアクセスします）をクリックし、「ツール」ー「オプション」をクリックします。



「オプション」画面が表示されます。

6 **「音楽の取り込み」タブをクリックし、「取り込んだ音楽を保護する」をクリックしてチェックマークを付けます。**



7 **必要に応じて音質を設定します。**

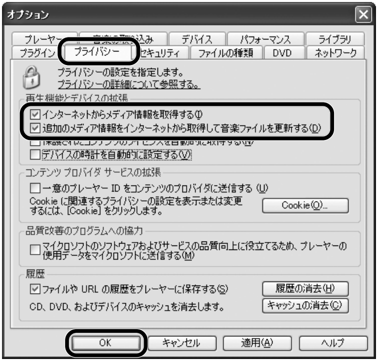
音質のスライダーを左右に動かして設定します。通常は128bpsか64bpsを選択してください。

参考

- 音質は数値が大きいほど音質が良くなりますが、データサイズが大きくなるため、本機に取り込める曲数が少なくなります。

8 **「プライバシー」タブをクリックし、「インターネットからメディア情報を取得する」と「追加のメディア情報をインターネットから取得して音楽ファイルを更新する」をクリックしてチェックマークを付けます。**

音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが、インターネットを通じて自動的に取得されるようになります。



9 **[OK]をクリックします。**

10 **デバイスへの同期の設定をします。**

この設定をすることで、Windows Media® Playerの同期リストと本機が自動的に同期せず、誤った操作が行われないようにします

①Windows Media® Player 10で画面上部の「同期」タブをクリックし、「同期の設定」をクリックします。

「同期の設定」画面が表示されます。



②「デバイスの同期を自動的に行う」をクリックして、チェックマークを外し、[OK]をクリックします。



11 デバイスのフォルダ階層の設定をします。

この設定は、Windows Media® Player 10を起動中に本機をはじめて接続したときや、本機をフォーマットしたときに必要です。

①（プロパティと設定を表示します）をクリックします。
「リムーバブルディスクのプロパティ」画面が表示されます。



②「デバイスにフォルダ階層を作成する」をクリックしてチェックマークを入れ、[適用]、[OK]を順にクリックします。



これでWindows Media® Player 10の設定は完了です。

音楽CDからパソコンに音楽を取り込む

参考

- パソコンでインターネットに接続できることを確認してください。音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが、インターネットを通じて自動的に取得されます(情報が誤っていることもあります)。
- コピー防止機能を備えた音楽CDは取り込めません。

1 **Windows Media® Player 10で、画面上部の「取り込み」をクリックします。**



2 **パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDをセットします。**

音楽CDの再生が始まったときは、(停止)をクリックして再生を停止します。
セットした音楽CDのアルバム名、曲名、アーティスト名などが表示されます。
インターネットに接続されていない場合は、曲名やアーティスト名などが表示されず「トラック1～」「アーティスト情報なし」と表示されます。

3 取り込みたい曲にチェックマークが付いていることを確認して、「音楽の取り込み」をクリックします。



音楽データの取り込みが始まります。
取り込みたい曲の「取り込みの状態」の欄に「ライブラリに取り込み済み」とすべて表示されるまで、しばらくお待ちください。

4 画面上部の「ライブラリ」をクリックします。

取り込んだ音楽データが確認できます。

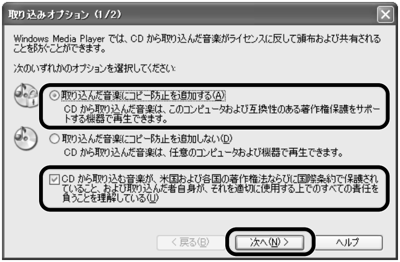


これでパソコンへの音楽データの取り込みは完了です。

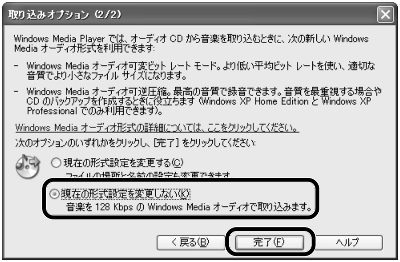
参考

- Windows Media® Player 10で、曲を選んで取り込んだり、曲名やアルバム名などを編集したりすることができます。詳しい使い方はWindows Media® Player 10のヘルプをご覧ください。画面右上の （アプリケーションメニューにアクセスします）をクリックし、「ヘルプ」ー「Windows Media Playerヘルプ」をクリックすると表示されます。
- **初めて音楽を取り込むときは**
「音楽の取り込み」を初めてクリックしたときは、「取り込みオプション」画面が表示されます。この場合は次の操作を行ってください。

①「取り込んだ音楽にコピー防止を追加する」と「CDから取り込む音楽が…」をクリックし、［次へ］をクリックします。



②音楽の取り込み形式に問題なければ、「現在の形式を変更しない」をクリックし、［完了］をクリックします。取り込みの音質などを変更したい場合は、「現在の形式設定を変更する」を選択し、変更してください。



取り込んだ音楽データを本機に転送する

音楽データを本体メモリ、またはminiSDカードに転送します。miniSDカードへ転送する場合は、あらかじめ本機にminiSDカードを差し込んでおいてください。（28ページ）

1 **本機をパソコンに接続していない場合は、パソコンと接続します。（31ページ）**

2 **Windows Media® Player 10で、画面上部の「同期」をクリックします。**



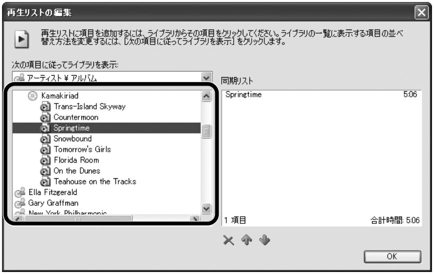
3 **画面右側のをクリックし、本体メモリ、またはminiSDカードに該当するリムーバブルディスクを選びます。**



4 **「再生リストの編集」をクリックします。**

「再生リストの編集」画面が表示されます。

5 **左側の曲名の一覧から、転送したい曲をクリックして選びます。**



選んだ曲が右側の「同期リスト」に表示されます。
同じ操作で転送したい曲をすべて選び、[OK]をクリックします。

6 「同期の開始」をクリックします。

音楽データの転送が始まります。
転送が完了するまで、しばらくお待ちください。



7 転送した音楽データが右図の位置(「VOICE」、「LINE-IN」などのフォルダの上位)に保存されていることを確認します。



これで本機への音楽データの取り込みは完了です。

音楽サイトで購入した音楽データを取り込む

音楽サイトなどで購入し、Windows Media® Player 10にリストされていない音楽データや、他のソフトウェアで作成した音楽データは、以下の操作で取り込みます。

1 **Windows Media® Player 10を起動します。**

2 **画面上部の「ライブラリ」をクリックします。**

3 **画面左下の「ライブラリに追加」をクリックし、「ファイルまたは再生リストを追加」をクリックします。**

「ファイルを開く」画面が表示されます。

4 **購入した音楽データをクリックして選び、[開く]をクリックします。**

選んだ音楽データがライブラリに追加されます。(画面左側の「購入した音楽」をクリックすると表示されます)

取り込んだ音楽データを本機へ転送する方法については、「取り込んだ音楽データを本機に転送する」(52ページ)を参照してください。

参考

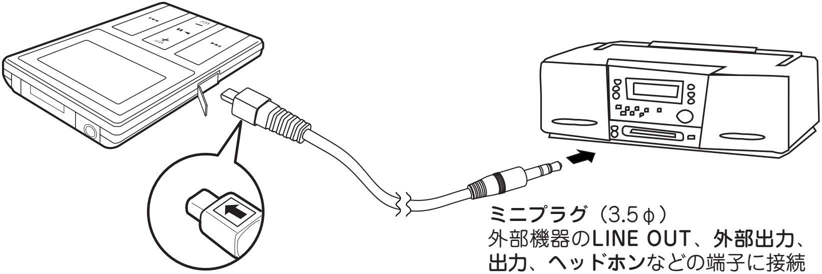
- Windows® XP以外のOSをご使用の場合は、Windows Media® Player 10の代わりにWindows Media® Player 9がご利用になれます。ただし、Windows Media® Player 9ご利用時は以下の制限があります。
  - ・本機に取り込まれた音楽データは、アルバム収録順でなく、ファイル名順になります。アルバム収録順にするときは、本機に転送する前に、Windows Media® Player 9でファイル名の先頭に「01」、「02」などの数字を追加してください。
  - ・指定したフォルダの下に階層を作らずに音楽データを転送(同期)します。必要な場合は、アルバム名、アーティスト名などのフォルダを作成して音楽データを移動してください。
- パソコンと本機を接続して、ファイルコピーの操作で音楽データを本機にコピーすることができます。ただし、著作権保護された音楽データは、コピーしても正しく再生されません。また、MP3形式の音楽データをこの方法でコピーすると著作権を侵害する恐れがありますので、Windows Media® Player をご利用になることをおすすめします。

CD/MDプレーヤーから録音する(ダイレクト録音)

パソコンを使わずに、お手持ちのオーディオ機器から本機に直接録音する方法です。

オーディオ機器と接続する

LINE-INケーブル(付属)を使って、本機とオーディオ機器を接続します。
本機とオーディオ機器の電源を切った状態で接続してください。



ミニプラグ(3.5φ)
外部機器のLINE OUT、**外部出力**、**出力**、**ヘッドホン**などの端子に接続

オーディオ機器の端子が3.5φミニジャック以外の場合は、ヘッドホン変換ケーブル(付属)または変換アダプター(市販品)などをご使用ください。

参考

- ケーブルのプラグは奥までしっかりと差し込んでください。正しく接続されていないと、雑音が入ったり、音が途切れたりします。

録音を始める前に

大切な録音をする前に、必ず試し録音をして、本機で再生音を確認してください。

録音レベルが適切でないと、音が小さすぎたり、大きすぎて音が割れたりします。（録音レベルの設定のしかた：59ページ）

参考

- オーディオ機器のLINE-OUT端子に本機を接続している場合に、録音レベルを設定してもうまく録音できないときは、オーディオ機器のヘッドホン端子など、他の音声出力端子に本機を接続してみてください。
- オーディオ機器のヘッドホン端子を使って録音するときは、オーディオ機器にヘッドホンを接続して、ふだん聴くときよりも音が割れない程度に少し大きめの音量に調節しておいてください。録音するときの音量はレベルメーターで確認できます。（60ページ）

オーディオ機器から録音する

本体メモリだけでなく、miniSDカードに直接録音することもできます。
miniSDカードの取りつけかたは「miniSDカードを差し込む」（28ページ）をご覧ください。

1 **本機とオーディオ機器を接続します。（56ページ）**

2 **[HOLD/POWER]をPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**

モード選択画面が表示されます。

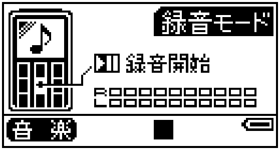
3 ⏮または⏭で「音楽」を選び、⏯を押します。

音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

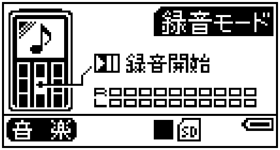
4 VOL+またはVOL−で「ダイレクト録音」を選び、⏯を押します。

録音モードの待機画面が表示されます。

通常時



miniSDカード挿入時



5 必要に応じて、録音レベル、録音音質、シンクロ録音、フォルダ作成の設定をします。

録音レベルの設定のしかた　：59ページ
録音音質の設定のしかた　：61ページ
シンクロ録音とは　：62ページ
フォルダ作成とは　：63ページ

6 miniSDカードを差し込んでいる場合は、□ を押して録音先（本体メモリ／miniSDカード）を選びます。

本体メモリを選んだとき



miniSDカードを選んだとき



※miniSDカードが差し込まれていないときは、録音先にminiSDカードを選べません。

7 ▶IIを押します。

録音が始まります。

8 オーディオ機器で音楽を再生します。

録音を一時停止するには	▶IIを押します。 再開するには、再度押します。
録音を停止するには	■を押します。

9 録音が終わったら、本機とオーディオ機器の電源を切り、本機とオーディオ機器を取り外します。

参考

- 音楽データは、「AU001.MP3」、「AU002.MP3」、「AU003.MP3」…のファイル名で保存されます。
- シンクロ録音中に約30秒以上の無音部があった場合、本機はオーディオ機器の再生が終了したものと判断して自動的に停止します。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- 録音中、本機に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音された音量とは異なります。録音レベルは、録音した後の本機の再生音で確認してください。

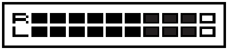
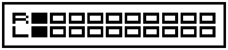
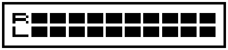
録音レベルの設定のしかた

録音レベルは「高」「中」「低」の3段階から選びます。
レベルメーターを見ながら設定してください。

1 「オーディオ機器から録音する」(57ページ)手順1～4の操作で、録音モードの待機画面を表示させます。

2 **オーディオ機器で音楽を再生します。**

3 **レベルメーターがときおり右端まで伸びているかどうか（伸びたままにならないように）確認します。**

	音楽モード／FMラジオモード	ボイスレコーダーモード
適切なレベル		
レベルが低すぎるとき		
レベルが高すぎるとき		

4 **レベルが低すぎるときや高すぎるときは MENU を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

5 **Vol+ または Vol− で「録音レベル」を選び、▶II を押します。**

録音レベル選択画面が表示されます。

6 **録音レベルを選び、▶II を押します。**

レベルが低すぎるとき：「高」または「中」
レベルが高すぎるとき：「低」または「中」

参考

- 上記の操作を行っても録音レベルが適切でないときは、オーディオ機器のヘッドホン端子を使用し、オーディオ機器の音量を調節して録音してください。

録音レベルを設定すると、録音モードの待機画面に戻ります。

録音音質の設定のしかた

録音音質は「高」「中」「低」の3段階から選びます。
「高」を選ぶと音質は良くなりますが、総録音時間は短くなります。

1 「オーディオ機器から録音する」(57ページ)手順1～4の操作で、録音モードの待機画面を表示させます。

2 [MENU]を押します。

録音設定選択画面が表示されます。

3 [Vol +] または [Vol −] で「録音音質」を選び、[▶II]を押します。

録音音質選択画面が表示されます。

4 録音音質を選び、[▶II] を押します。

「高」： 128Kbps
「中」： 112Kbps
「低」： 96Kbps

録音音質を設定すると、録音モードの待機画面に戻ります。

シンクロ録音機能のオン／オフのしかた

シンクロ録音とは、録音中に約3秒以上の無音部があった場合、その位置を曲の区切りと判断して1曲（1ファイル）にする機能です。録音中に約30秒の無音部があった場合、録音を終了します。
シンクロ録音を「オフ」にすると、録音開始～終了までが1曲（1ファイル）になります。
ご購入時の設定は「オン」です。
また、シンクロ録音が「オン」のときは、録音ごとにフォルダを分割することができるフォルダ作成機能の選択ができます。

1 **「オーディオ機器から録音する」（57ページ）手順1～4の操作で、録音モードの待機画面を表示させます。**

2 **[MENU]を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

3 **[Vol +] または [− Vol] で「シンクロ録音」を選び、[▶II] を押します。**

シンクロ録音選択画面が表示されます。

4 **「オン」または「オフ」を選び、[▶II] を押します。**

「オン」を選ぶと、フォルダ作成選択画面が表示されます。

5 **「オン」または「オフ」を選び、[▶II] を押します。**

フォルダ作成とは

自動的にフォルダを作成してその中に曲を録音する機能です。たとえば音楽CDを録音した場合、音楽CD1枚ごとにフォルダが作成されるので、アルバム単位での曲の管理が容易になります。

フォルダ作成を「オフ」にすると、フォルダは作成されません。

ご購入時の設定は「オン」です。

参考

- フォルダ作成を「オン」にできるのは、シンクロ録音を「オン」にしているときだけです。シンクロ録音を「オフ」にしているときは、フォルダ作成を設定できません。

音楽を聴く

録音した音楽を聴いてみましょう。
録音がまだお済みでないときは、次のいずれかの方法で録音してください。

音楽CDデータ転送ソフトを使って音楽データを取り込む..... 41ページ
Windows Media® Playerを使って音楽データを取り込む.... 44ページ
CD/MDプレーヤーから録音する(ダイレクト録音).............. 56ページ

本機で再生できる音楽データの形式は次のとおりです。

- パソコンから取り込んだ音楽データ(WMA形式またはMP3形式)
- ダイレクト録音した音楽データ(MP3形式)

基本的な再生のしかた

本体メモリだけでなく、miniSDカードに録音した音楽も再生できます。
miniSDカードの取りつけかたは「miniSDカードを差し込む」(28ページ)をご覧ください。

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**
ヘッドホン変換ケーブル(付属)を使用して接続します。

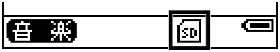
2 **HOLD/POWER をPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**
モード選択画面が表示されます。

3 ⏮ または ⏭ で「音楽」を選び、▶II を押します。

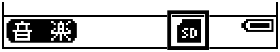
音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

4 miniSDカードを差し込んでいる場合は、 を押して再生先（本体メモリ／miniSDカード）を選びます。

本体メモリを選んだとき



miniSDカードを選んだとき



※miniSDカードが差し込まれていないときは、再生先にminiSDカードを選べません。

5 Vol+ または Vol− で「再生リスト」を選び、▶II を押します。

6 「音楽リスト」または「ダイレクト録音リスト」を選び、▶II を押します。

音楽リスト	：パソコンから取り込んだ音楽データ
ダイレクト録音リスト	：ダイレクト録音した音楽データ

7 フォルダ( )が表示された場合は、フォルダ( )を選び、▶II を押します。

さらにフォルダ( )が表示された場合は、曲が表示されるまで手順7を繰り返します。

8 リストから聴きたい曲を選び、▶II を押します。

選んだ曲から再生が始まり、リストの全曲を再生します。
フォルダ内の曲を選んだ場合も同様です。

音量を調節するには	[Vol+](大きく)または [Vol−] (小さく)を押します。
再生を一時停止するには	[▶II]を押します。 再開するには、再度押します。
次の曲／前の曲へ移動するには	再生中に[▶▶I](次)または[I◀◀](前)を押します。 (曲の先頭で[I◀◀]を押すと前の曲に移動し、曲の途中で押すと、再生中の曲の先頭に移動します。)
早送り／巻き戻しするには	再生中に[▶▶I](早送り)または[I◀◀](巻き戻し)を押したままにして好みの位置で指を離します。
再生を停止するには	[■]を押します。

参考

- フォルダの中に子フォルダがある場合、子フォルダの曲はとばして再生されます。子フォルダの曲も含めて全曲を再生するときは、「アルバムの全曲を聴く」(下記)をご覧ください。
- 曲名が長いときは自動的にスクロールして表示されます。ただし、長すぎると途切れることがあります。

アルバムの全曲を聴く

フォルダの中に子フォルダがある場合、子フォルダの曲も含めて全曲が再生されます。

1 **「基本的な再生のしかた」(64ページ)手順1〜5の操作をします。**

2 [Vol+]または[Vol−] で「音楽リスト」を選び、[▶II]を押します。

3 再生するフォルダ( )を選びます。

4 [MENU]を押します。

5 「再生」を選び、[▶II]を押します。

再生が始まります。

続きから聴く

前回途中で停止した曲や音声を、続きから再生します。

1 続きから再生する準備をします。

録音した曲を聴く場合：

「基本的な再生のしかた」(64ページ)の手順1〜3の操作をします。

ボイスレコーダーで録音した音声を聴く場合：

「録音した音声を聴く」(85ページ)の手順1〜4の操作をし、[MENU]を押します。

録音したFM放送を聴く場合：

「録音したFM放送を聴く」(98ページ)の手順1〜4の操作をし、[MENU]を押します。

2 [Vol+]または[Vol−]で「続きから再生」を選び、[▶II]を押します。

前回途中で停止した曲が、続きから始まります。

参考

- 前回再生した曲と同じファイル名で音楽データや音声データを上書き、または削除した場合は、前回再生した曲の情報が消えるため「続きから再生」は画面に表示されません。

お気に入りの音楽を登録して聴く

「お気に入りリスト」に曲を登録することで、お気に入りの曲だけを登録順に再生することができます。（最大100曲まで）

好みの曲をお気に入りリストに登録する

1 **音楽モードのリスト画面で、[Vol+]または[Vol−]で最初に登録する曲を選びます。**

2 **[MENU]を押します。**

3 **「お気に入りに追加」を選び、[▶II]を押します。**

追加登録の完了メッセージが表示されます。

4 **[▶II]を押します。**

[MENU]を押したときの画面に戻ります。

5 **同じ操作をくり返し、好みの曲を順に登録します。**

参考

- 本体メモリの曲とminiSDカードの曲を混在させてお気に入りリストに登録することはできません。
- 「これ以上登録できません」と表示されたときは、最大登録曲数を超えています。必要に応じてお気に入りリストから曲を削除してください。（69ページ）

お気に入りリストで曲を聴く

1 **「基本的な再生のしかた」（64ページ）手順1～4の操作をします。**

2 **[Vol+]または[Vol−]で「お気に入りリスト」を選び、[▶II]を押します。**

お気に入りリストが表示されます。

3 リストから聴きたい曲を選び、[▶II]を押します。

再生が始まります。

お気に入りリストから曲を削除する

曲の登録を解除します。（音楽データは削除されません）
1曲ずつ解除したり、全曲の登録を一度に解除したりできます。

1 「基本的な再生のしかた」(64ページ)手順1～4の操作をします。

2 [Vol +]または[Vol −]で「お気に入りリスト」を選び、[▶II]を押します。

お気に入りリストが表示されます。

3 登録を解除する曲を選びます。

4 [MENU]を押します。

5 「リストから削除」を選び、[▶II]を押します。

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　　　：選んだ曲だけがお気に入りリストから削除されます。
すべて削除：お気に入りリストの全曲がリストから削除されます。
キャンセル：削除を取りやめます。

6 削除の範囲を選び、[▶II]を押します。

確認画面が表示されます。

7 [Vol +]または[Vol −]で「はい」を選び、[▶II]を押します。

登録が解除されます。

聴くときの設定を変える

くり返し、または順不同に聴く（リピート／シャッフル）

その曲や音声だけをくり返したり、リストの内のすべての曲や音声をくり返したり、順不同にくり返したりできます。

1 **曲や音声の再生中に、 を押します。**

押すたびに、次のように切り替わります。

1リピート→オールリピート→シャッフル→シャッフルオールリピート→通常再生→1リピート…

- ・通常再生　：リスト内のすべての曲／音声を順に再生します。
- ・1リピート　：再生中の曲／音声をくり返します。
- ・オールリピート　：リスト内のすべての曲／音声をくり返します。
- ・シャッフル　：全曲を順不同に再生します。
- ・シャッフルオールリピート　：リスト内のすべての曲／音声を順不同にくり返します。

2 **「1リピート」「オールリピート」「シャッフル」「シャッフルオールリピート」のいずれかを選びます。**

解除するには、 を数回押して「通常再生」を選びます。

再生速度を切り替える

音楽再生時の速度を3段階に切り替えることができます。

1 再生速度切替が「オン」になっているか確認します。

①音楽モードの場合：

「基本的な再生のしかた」(64ページ)の手順1～3の操作をします。

ボイスレコーダーモードの場合：

「録音した音声を聴く」(85ページ)の手順1～4の操作をします。

FMラジオモードの場合：

「録音したFM放送を聴く」(98ページ)の手順1～4の操作をします。

② MENU を押します。

③ Vol+ または Vol− で「再生速度切替」を選び、▶II を押します。

④「オフ」になっている場合は、 Vol+ または Vol− で「オン」を選び、▶II を押します。

2 再生中に、▶II を長押しします。

長押しするたびに、再生速度が次のように変わります。

110%→90%→100%→110%・・・

（速）　（遅）　（標準）（速）

再生速度は、電源を切ると標準に戻ります。

音響効果を使う(イコライザー)

聴いている曲や音声に応じて音響効果を使い分けることができます。
「バス」を選ぶと低音が強調されます。

1 **曲の再生中に、MENUを押します。**

2 **Vol＋またはVol－で「イコライザー」を選び、▶IIを押します。**

音響効果選択画面が表示されます。
選ばれている音響効果の左にはチェックマークが付いています。

3 **「ノーマル」「ジャズ」「ロック」「クラシック」「ポップ」「バス」のいずれかを選び、▶IIを押します。**

再生中の曲に、選んだ音響効果が加わります。好みに応じて切り替えてください。

解除するには、上記の操作で「ノーマル」を選びます。

参考

- 曲の停止中でも操作できます。

録音した音楽を削除する

1曲ずつ削除したり、フォルダを削除したり、フォルダを含む全曲を一度に削除したりできます。いったん削除すると、この操作は取り消せませんのでご注意ください。

1 **「基本的な再生のしかた」(64ページ)手順1～5の操作をします。**

2 **[Vol+]または[Vol−]で「音楽リスト」または「ダイレクト録音リスト」を選び、[▶II]を押します。**

3 **削除したい曲、フォルダまたはリストを選びます。**

4 **[MENU]を押します。**

5 **「削除」を選び、[▶II]を押します。**

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　：選んだ曲、フォルダまたはリストが削除されます。
すべて削除　：手順2で選んだ「音楽リスト」または「ダイレクト録音リスト」の全曲が削除されます。
キャンセル　：削除を取りやめます。

6 **削除の範囲を選び、[▶II]を押します。**

確認画面が表示されます。

7 **[Vol+]または[Vol−]で「はい」を選び、[▶II]を押します。**

音楽データが削除されます。

参考

- 曲の再生中でも操作できます。ただし、この場合は削除の範囲を選択する画面は表示されず、直接、再生中の曲の削除の確認画面が表示されます。

本体／カード間で音楽を移動する

本体メモリとminiSDカードの間で、双方向に曲を移動できます。
ここでは例として、本体メモリからminiSDカードに曲を移動します。

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**

2 **HOLD/POWERをPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**
モード選択画面が表示されます。

3 **miniSDカードをスロットに差し込みます。(28ページ)**

4 **[カード]を押して移動元(ここでは本体メモリ)を選びます。**

5 **[⏮]または[⏭]で「音楽」を選び、[▶II]を押します。**
音楽モードのリスト選択画面が表示されます。

6 **[Vol+]または[Vol−]で「再生リスト」を選び、[▶II]を押します。**

7 **「音楽リスト」または「ダイレクト録音リスト」を選び、[▶II]を押します。**

8 **リストから、移動したい曲またはフォルダを選びます。**

9 **MENUを押します。**

10 **「移動」を選び、[▶II]を押します。**
移動の範囲を選択する画面が表示されます。

移動	：選んだ曲、またはフォルダを移動します。
すべて移動	：手順7で選んだ「音楽リスト」または「ダイレクト録音リスト」の全曲を移動します。
キャンセル	：移動を取りやめます。

11 移動の範囲を選び、▶II を押します。

12 「はい」を選び、▶II を押します。

曲の移動が始まります。

移動中に ■ を押すと、移動中断確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、移動が中止されます。
移動が完了すると、MENU を押す前の画面に戻ります。

参考

- 移動先に同じ名前の曲やフォルダがある場合は、自動的に別の名前で保存されます。（名前の末尾に「-数字」が付きます）
  たとえば、移動元のファイル名が「abc.mp3」で移動先にも同じ「abc.mp3」がある場合、移動後のファイル名は「abc-1.mp3」となります。
- 移動はファイル数やファイルサイズにより時間がかかりますので、本機にACアダプターを接続して行うことをおすすめします。
- 著作権保護された曲も移動されますが、再生はできません。
- 音楽ファイルがフォルダに分割して記録されていない場合、本体からminiSDカードに移動すると、miniSDに空き容量があっても、すべての曲を移動できない場合があります。

FMトランスミッター
を使う

FMトランスミッターを使う前に

本機に録音した音楽データなどを、FM電波でFMラジオなどのFM受信機に送信することができます。

FMトランスミッター機能を使うときのご注意

- FM受信機は近くにないと受信できません。
  FMトランスミッター機能は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。微弱電波はFM放送などの電波を妨害しないように、極めて低い出力で送信される電波ですので、ごく近くのFM受信機でのみ受信できます。
- 付属のヘッドホンのコードがアンテナになります。（他のヘッドホンは使用しないでください）
  必ず付属のヘッドホンを正しく接続し、コードをまっすぐ伸ばしてご使用ください。また、FM受信機とコード（アンテナ）の角度や位置、周囲の環境（近くに金属物や電化製品があるなど）によって受信状態が変わりますので、コードの位置や伸ばす方向などを変えてみてください。
- ご使用のFM受信機によっては、受信状態が良くないことがあります。
- カーラジオを使用する場合、車種によっては雑音が入ることがあります。

ご注意

- 本機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することは、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害する恐れがありますので、厳重にお控えください。

FMトランスミッターで送信する

FMトランスミッター機能のオン／オフは、音楽モード、ボイスレコーダーモード、FMラジオモードでそれぞれ設定する必要があります。

1 **ヘッドホン（付属）をヘッドホン端子に接続します。**

2 **送信するデータに合わせて、音楽モード、ボイスレコーダーモードまたはFMラジオモード画面に切り替えます。**

音楽モード	：アルバムや曲のリスト画面
ボイスレコーダーモード	：ボイス録音のリスト画面
FMラジオモード	：FM録音のリスト画面

3 **MENUを押します。**

4 **Vol＋または－Volで「FMトランスミッター」を選び、▶IIを押します。**

5 **「オン」を選び、▶IIを押します。**

送信周波数の選択画面が表示されます。
周波数は、85.1～88.9MHz（0.2MHz間隔）の範囲で選べます。

参考

- ご使用になる地域のFM放送と重ならない周波数を選ぶ必要があります。

6 **周波数を選び、▶IIを押します。**

選んだ周波数を覚えておいてください。

7 **本機で音楽データなどを再生します。**

送信が始まります。

8 **FM受信機の周波数を、手順5で選んだ周波数に合わせます。**

FM受信機で再生音が受信されます。

9 **受信状態が良くなるように、ヘッドホンのコードの位置を調整します。**

音量を調節する

本機、FM受信機のいずれでも調節できます。

1 **FM受信機の音量を、ふだん放送を聴くときの音量に調節します。**

2 **本機で音楽データを送信し、FM受信機で受信します。**

3 **FM受信機からの音量が、手順1の音量と同じ程度になるように、本機の音量を調節します。**

参考

- 本機の音量を上げすぎると音がひずむことがあります。音がひずんだ場合は、本機の音量を下げ、FM受信機で音量を調節してください。

FMトランスミッターを上手に使うために

◎カーラジオで聴く場合

カーラジオは車種により、FM受信感度が大きく異なります。ご利用の車種で雑音が多かったり、受信できない場合は、次の点を確認してみてください。

1. 車種により、カーラジオのアンテナの位置が異なります。車の取扱説明書や、ディーラーにお問い合わせいただき、アンテナの位置を確認してください。
2. 本機にヘッドホン(付属)を接続してコードを伸ばし、カーラジオのアンテナに平行になるようにして、できるだけ近くに置きます。(アンテナから遠いと受信状態が悪くなります)
3. 本機からの電波をカーラジオで受信し、受信状態を確認します。

◎ラジカセなどオーディオ機器で聴く場合

オーディオ機器のFM受信機は、基本的に微弱電波を受信するようになっていませんので、遠く離れると受信できません。

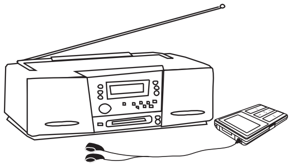
本機にヘッドホンを接続し、オーディオ機器のアンテナのできるだけ近くに、ヘッドホンのコードを伸ばして置く必要があります。

また、FM受信機にはノイズ除去機能がついている機種があります。この機能は微弱電波をノイズと判断して除去してしまい、本機から送信した微弱なFM電波をまったく受信しない場合があります。この場合は、別のFM受信機でお試しください。

こんなときは

FMトランスミッター機能で送信した音楽などをFM受信機で受信したとき、雑音が多い、モノラルで受信されるなどの状況になる場合は、次の点を確認してみてください。

- 本機のヘッドホン端子にきちんとヘッドホン(付属)が接続されていますか?
  ➡ ヘッドホンのコードがアンテナになるので、正しく接続しないと電波が送信されません。
- ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか?
  ➡ コードが丸まっていたり、折りたたまれていると、電波は弱くなります。



- ヘッドホンとオーディオ機器やカーラジオの位置関係は適切ですか?
  ➡ ヘッドホンとFM受信機のアンテナの方向は平行になるようにすると受信しやすくなります。また、距離はできるだけ近づけてください。
- FMトランスミッターの送信周波数やFM受信機の周波数は適切ですか?
  ➡ 送信周波数と受信周波数を合わせないと正しく受信できません。
  また、FM放送局に近い周波数を選択すると雑音が多くなることがあります。
  この場合は、送信/受信周波数を変えて、より影響の少ない周波数をお選びください。
- 本機の音量は適切ですか?
  ➡ FMトランスミッター機能で発信する音量は、本機で調節できます。
  FM受信機で大きな音を出していないのに音が割れたり、ひずんで聞こえる場合は、本機の音量を下げてみてください。

ボイスレコーダーを使う

ボイスレコーダーを使う前に

マイクを内蔵しているため、ボイスレコーダーとして使用できます。
打ち合わせのときや、メモしておきたいことを声で録音するのに便利です。

録音を始める前に

大切な録音をする前に、必ず試し録音をして、本機で再生音を確認してください。
音源からの距離や声の大きさに合わせて録音レベルを調整してください。
録音レベルが適切でないと、音が小さすぎたり、大きすぎて音が割れたりします。（60ページ）

録音する

本体メモリだけでなく、miniSDカードに直接録音することもできます。
miniSDカードに録音するときは「miniSDカードを差し込む」（28ページ）をご覧ください。

1 **HOLD/POWER をPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**
モード選択画面が表示されます。

2 **⏮または⏭で「ボイス」を選び、⏯を押します。**
ボイスレコーダーモード画面が表示されます。

3 **必要に応じて、録音レベル、録音音質の設定をします。**
録音レベルの設定のしかた　：60ページの手順3〜6の操作をします。
録音音質の設定のしかた　　：61ページの手順2〜4の操作をします。

4 miniSDカードを差し込んでいる場合は、[□]を押して録音先（本体メモリ／miniSDカード）を選びます。

本体メモリを選んだとき



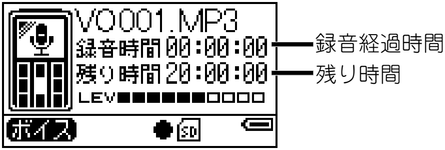
miniSDカードを選んだとき



※miniSDカードが差し込まれていないときは、録音先にminiSDカードを選べません。

5 [▶II]を押します。

録音が始まります。



録音を一時停止するには	[▶II]を押します。 再開するには、再度押します。
録音を停止するには	[■]を押します。

参考

- 録音データは、「VO001.MP3」、「VO002.MP3」、「VO003.MP3」…のファイル名で保存されます。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- 録音中、本機に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音された音量とは異なります。録音レベルは、録音した後の本機の再生音で確認してください。
- ボイスレコーダーでの録音は内蔵マイクでのみ行えます。外部マイクを接続して録音することはできません。

録音した音声を聴く

本体メモリだけでなく、miniSDカードに保存した音声も再生できます。
miniSDカードから再生するときは「miniSDカードを差し込む」(28ページ)をご覧ください。

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**

2 **[HOLD/POWER]をPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**
モード選択画面が表示されます。

3 **[⏮]または[⏭]で「ボイス」を選び、[⏯]を押します。**
ボイスレコーダーモード画面が表示されます。

4 **[🔁]を押して、再生リストを表示させます。**

5 **miniSDカードを差し込んでいる場合は、[□]を押して再生先(本体メモリ／miniSDカード)を選びます。**

本体メモリを選んだとき



miniSDカードを選んだとき



※miniSDカードが差し込まれていないときは、再生先にminiSDカードを選べません。

6 **リストから聴きたい音声を選び、[⏯]を押します。**
選んだ音声の再生が始まります。

音量を調節するには	[Vol +]（大きく）または [− Vol]（小さく）を押します。
再生を一時停止するには	[▶II]を押します。 再開するには、再度押します。
次の音声／前の音声へ移動するには	再生中に[▶▶I]（次）または[I◀◀]（前）を押します。 （音声の先頭で[I◀◀]を押すと前の音声に移動し、音声の途中で押すと、再生中の音声の先頭に移動します。）
早送り／巻き戻しするには	再生中に[▶▶I]（早送り）または[I◀◀]（巻き戻し）を押したままにして好みの位置で指を離します。
再生を停止するには	[■]を押します。

音声を聴くときの設定を変える

設定を変えていろいろな聴き方ができます。
操作方法については次の各ページをご覧ください。

- **続きから聴く**..............................67ページ
- **くり返し聴く（リピート）**.............. 1リピートのみ可能です。（70ページ）
- **再生速度を切り替える**.................. 71ページ
- **音響効果を使う（イコライザー）**.... 72ページ

録音した音声を削除する

いったん削除すると、この操作は取り消せませんのでご注意ください。

1 **「録音した音声を聴く」(85ページ)手順1～5の操作をします。**

2 **削除したい音声を選びます。**

3 **[MENU]を押します。**

4 **「削除」を選び、[▶II]を押します。**

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　　　　：選んだ音声が削除されます。
すべて削除　：すべての音声が削除されます。
キャンセル　：削除を取りやめます。

5 **削除の範囲を選び、[▶II]を押します。**

確認画面が表示されます。

6 **[Vol＋]または[－Vol]で「はい」を選び、[▶II]を押します。**

録音データが削除されます。

本体／カード間で音声を移動する

本体メモリとminiSDカードの間で、双方向で音声を移動できます。
ここでは例として、本体メモリからminiSDカードに音声を移動します。

1 **「録音した音声を聴く」(85ページ)手順1～4の操作をします。**

2 **miniSDカードをスロットに差し込みます。(28ページ)**

3 **[□] を押して移動元(ここでは本体メモリ)を選びます。**

4 **リストから、移動したい音声を選びます。**

5 **[MENU]を押します。**

6 **「移動」を選び、[▶II]を押します。**

移動の範囲を選択する画面が表示されます。

移動　　　　：選んだ音声を移動します。
すべて移動　：すべての音声を移動します。
キャンセル　：移動を取りやめます。

7 **移動の範囲を選び、[▶II]を押します。**

8 **「はい」を選び、[▶II]を押します。**

音声の移動が始まります。

移動中に[■]を押すと、移動中断確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、移動が中止されます。
移動が完了すると、[MENU]を押す前の画面に戻ります。

参考

- 移動先に同じ名前の音声がある場合は、自動的に別の名前で保存されます。（音声名の末尾に「-数字」が付きます）
  たとえば、移動元のファイル名が「abc.mp3」で移動先にも同じ「abc.mp3」がある場合、移動後のファイル名は「abc-1.mp3」となります。
- 移動はファイル数やファイルサイズにより時間がかかりますので、本機にACアダプターを接続して行うことをおすすめします。

FMラジオを聴く

FM Radio

FM放送を聴く前に

FM放送を受信するときのご注意

- 付属のヘッドホンのコードがアンテナになります(他のヘッドホンは使用しないでください)。必ず付属のヘッドホンを正しく接続し、コードをまっすぐ伸ばしてご使用ください。受信状態が悪いときは、プラグの差し込み具合を再度確認し、コードを伸ばす方向を変えてみてください。
- ACアダプターを接続した状態で受信すると、雑音が入ることがあります。

FM放送を受信する

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**

2 **[HOLD/POWER]をPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**

モード選択画面が表示されます。

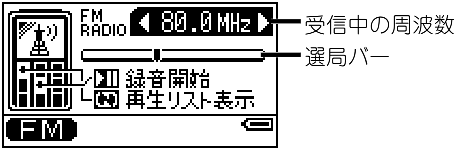
3 **[⏮]または[⏭]で「FM」を選び、[⏯]を押します。**

FMモード画面が表示されます。

4 **[⏮]または[⏭]で選局します。**

[⏭]：上の周波数へ

[⏮]：下の周波数へ



音量を調節するには	[VOL+](大きく)または[VOL−](小さく)を押します。

自動的に選局する

▶▶|または|◀◀を約1秒間押すと、自動選局を開始し、受信できる周波数(放送局)を探します。

放送局が見つかれば停止して受信します。

他の放送局を受信するときは、同じ操作をくり返します。

自動選局を途中で止めるときは、■を押します。

参考

- 電波が弱くて自動選局で受信できないときは、希望の周波数の近くまで自動選局で送り、■で止め、|◀◀または▶▶|を数回押して選局してください。

ステレオ放送で雑音が多いときは(モノラル受信)

モノラル受信に切り替えると、ノイズが軽減されて聴きやすくなります。

1 **「FM放送を受信する」(91ページ)手順1〜3の操作で、FMモード画面を表示させます。**

2 **MENUを押します。**

3 **Vol＋または－Volで「ステレオ」を選び、▶IIを押します。**

ステレオ／モノラル選択画面が表示されます。

4 **「モノラル」を選び、▶IIを押します。**

FMモード画面に戻ります。

受信状態のよい放送局を聴くときは、モノラル受信を解除してください。

よく聴く放送局を登録して受信する

よく聴く放送局を本機に登録しておくと、選局操作が楽になります。

よく聴く放送局を登録する

自動登録機能を使う

自動的に選局して、受信できる放送局をすべて登録します。

1 **「FM放送を受信する」(91ページ)手順1～3の操作で、FMモード画面を表示させます。**

2 **[MENU]を押します。**

3 **[Vol +]または[− Vol]で「オートプリセット」を選び、[▶II]を押します。**
確認画面が表示されます。

4 **「はい」を選び、[▶II]を押します。**
選局・登録動作の後、登録された放送局の周波数が、プリセット呼出画面に表示されます。

参考

- 電波が弱い放送局は登録されないことがあります。また、雑音などにより、放送局のない周波数が登録されることがあります。この場合は、「手動で登録する」(94ページ)の操作で登録し直してください。

手動で登録する

1局ずつ手動で登録します。

1 「FM放送を受信する」(91ページ)の操作で、登録したい放送局を受信します。

2 MENU を押します。

3 Vol+または Vol−で「プリセット保存」を選び、▶II を押します。

4 登録先のチャンネルを選び、▶II を押します。

選んだチャンネルに放送局が登録され、FMモード画面に戻ります。

登録した放送局を聴く

あらかじめ「よく聴く放送局を登録する」(93ページ)の操作をしてください。

1 「FM放送を受信する」(91ページ)手順1〜3の操作で、FMモード画面を表示させます。

2 MENU を押します。

3 Vol+または Vol−で「プリセット呼出」を選び、▶II を押します。

プリセット呼出画面が表示されます。

参考

- プリセット呼出画面は、受信中に ■ を押しても表示されます。

4 チャンネルを選び、▶II を押します。

選んだチャンネルの放送局が受信されます。

登録した放送局を削除する

本機に登録した放送局を削除します。

1 「FM放送を受信する」(91ページ)手順1～3の操作で、FMモード画面を表示させます。

2 MENU を押します。

3 Vol+ または Vol− で「プリセット設定削除」を選び、▶II を押します。

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　　　　：選んだチャンネルの登録が削除されます。

すべて削除　：すべての登録が削除されます。

キャンセル　：削除を取りやめます。

4 削除の範囲を選び、▶II を押します。

手順3で「削除」を選んだ場合、削除するチャンネルを選び、▶II を押します。

登録が削除されます。

FM放送を録音する

受信中のFM放送を録音できます。

録音を始める前に「試し録音」をしてください

大切な録音をする前に、必ず試し録音をして、本機で再生音を確認してください。
録音レベルが適切でないと、音が小さすぎたり、大きすぎて音が割れたりします。

1 録音したいFM放送を受信します。

「FM放送を受信する」(91ページ)や「登録した放送局を聴く」(94ページ)をご覧ください。

2 ▶II を押して、試し録音を開始します。

レベルメーターが適切かどうか確認してください。(60ページの手順3)

3 ■ を押して試し録音を停止します。

必要に応じて、録音レベル、録音音質の設定をします。

録音レベルの設定のしかた　：60ページの手順4〜6の操作をします。

録音音質の設定のしかた　　：61ページの手順2〜4の操作をします。

参考

- 録音するときは、LINE-IN端子に何も接続しないでください。
- 録音データは、「FM001.MP3」、「FM002.MP3」、「FM003.MP3」…のファイル名で保存されます。
- 録音中、本機に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音された音量とは異なります。録音レベルは、録音した後の本機の再生音で確認してください。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- ACアダプターを接続して録音すると、雑音が入ることがあります。

録音する

本体メモリだけでなく、miniSDカードに直接録音することもできます。
miniSDカードに録音するときは「miniSDカードを差し込む」(28ページ)をご覧ください。

1 録音したいFM放送を受信します。

「FM放送を受信する」(91ページ)や「登録した放送局を聴く」(94ページ)をご覧ください。

2 miniSDカードを差し込んでいる場合は、□を押して録音先(本体メモリ/miniSDカード)を選びます。

本体メモリを選んだとき



miniSDカードを選んだとき



※miniSDカードが差し込まれていないときは、録音先にminiSDカードを選べません。

3 ▶IIを押します。

録音が始まります。

録音を一時停止するには	▶IIを押します。 再開するには、再度押します。
録音を停止するには	■を押します。

参考

- 録音データは、「FM001.MP3」、「FM002.MP3」、「FM003.MP3」…のファイル名で保存されます。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- 録音中、本機に接続したヘッドホンで聞こえる音量は、録音された音量とは異なります。
- ACアダプターを接続して録音すると、雑音が入ることがあります。

録音したFM放送を聴く

本体メモリだけでなく、miniSDカードに保存した音声も再生できます。
miniSDカードから再生するときは「miniSDカードを差し込む」(28ページ)をご覧ください。

1 **ヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に接続します。**

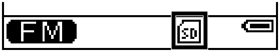
2 **HOLD/POWER をPOWER側にスライドさせて電源を入れます。**
モード選択画面が表示されます。

3 **⏮または⏭で「FM」を選び、▶II を押します。**
FMモードのリスト選択画面が表示されます。

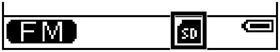
4 **[再生リスト] を押して、再生リストを表示させます。**

5 **miniSDカードを差し込んでいる場合は、[□]を押して再生先(本体メモリ／miniSDカード)を選びます。**

本体メモリを選んだとき



miniSDカードを選んだとき



※miniSDカードが差し込まれていないときは、再生先にminiSDカードを選べません。

6 **リストから聴きたい音声を選び、▶II を押します。**
選んだ音声の再生が始まります。

音量を調節するには	Vol+（大きく）または Vol−（小さく）を押します。
再生を一時停止するには	▶II を押します。 再開するには、再度押します。
次の音声／前の音声へ移動するには	再生中に ▶▶I（次）または I◀◀（前）を押します。 （音声の先頭で I◀◀ を押すと前の音声に移動し、音声の途中で押すと、再生中の音声の先頭に移動します。）
早送り／巻き戻しするには	再生中に ▶▶I（早送り）または I◀◀（巻き戻し）を押したままにして好みの位置で指を離します。
再生を停止するには	■ を押します。

録音したFM放送を聴くときの設定を変える

設定を変えていろいろな聴き方ができます。
操作方法については次の各ページをご覧ください。

続きから聴く 67ページ

くり返し聴く（リピート） .... 1リピートのみ可能です。（70ページ）

再生速度を切り替える 71ページ

音響効果を使う（イコライザー） 72ページ

録音したFM放送を削除する

いったん削除すると、この操作は取り消せませんのでご注意ください。

1 **「録音したFM放送を聴く」(98ページ)手順1～5の操作をします。**

2 **削除したい音声を選びます。**

3 **[MENU]を押します。**

4 **「削除」を選び、[▶II]を押します。**

削除の範囲を選択する画面が表示されます。

削除　　　　：選んだ音声が削除されます。
すべて削除　：すべての音声が削除されます。
キャンセル　：削除を取りやめます。

5 **削除の範囲を選び、[▶II]を押します。**

確認画面が表示されます。

6 **[Vol +]または[− Vol]で「はい」を選び、[▶II]を押します。**

録音データが削除されます。

本体／カード間で音声を移動する

本体メモリとminiSDカードの間で、双方向で音声を移動できます。
ここでは例として、本体メモリからminiSDカードに音声を移動します。

1 **「録音したFM放送を聴く」(98ページ)手順1〜4の操作をします。**

2 **miniSDカードをスロットに差し込みます。(28ページ)**

3 **[□] を押して移動元(ここでは本体メモリ)を選びます。**

4 **リストから、移動したい音声を選びます。**

5 **[MENU]を押します。**

6 **「移動」を選び、[▶II]を押します。**

移動の範囲を選択する画面が表示されます。

移動　　　　：選んだ音声を移動します。
すべて移動　：すべての音声を移動します。
キャンセル　：移動を取りやめます。

7 **移動の範囲を選び、[▶II]を押します。**

8 **「はい」を選び、[▶II]を押します。**

音声の移動が始まります。

移動中に[■]を押すと、移動中断確認画面が表示されます。「はい」を選ぶと、移動が中止されます。
移動が完了すると、[MENU]を押す前の画面に戻ります。

参考

- 移動先に同じ名前の音声がある場合は、自動的に別の名前で保存されます(音声名の末尾に「-数字」が付きます)。たとえば、移動元のファイル名が「abc.mp3」で移動先にも同じ「abc.mp3」がある場合、移動後のファイル名は「abc-1.mp3」となります。
- 移動はファイル数やファイルサイズにより時間がかかりますので、本機にACアダプターを接続して行うことをおすすめします。

MEMO

設定メニュー

設定メニューを表示させる

好みに応じて本機の設定を変更することで、本機がより使いやすくなります。
設定の変更は、設定メニューから行います。

設定メニューの一覧

変更できる設定項目は次のとおりです。

オートパワーオフ	ボタン操作のない状態が続いたとき、本機の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。	106ページ
スリープタイマー	再生中、本機の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。	107ページ
省電力モード	再生／録音／FM受信を行っている際に、ボタン操作のない状態が続いたとき、表示部の表示を消すなどの設定をします。	107ページ
明るさ	表示部の明るさを変更します。	108ページ
設定の初期化	変更した設定をご購入時の状態に戻します。	109ページ
製品情報	本機のバージョン情報、本体メモリ・miniSDカードの情報、ファイル数などを表示します。	109ページ

設定メニューの表示のしかた



1 **MENU を長押しします。**

モード選択画面が表示されます。

2 **|◀◀ または ▶▶| で「設定」を選び、▶II を押します。**

設定メニュー画面が表示されます。

オートパワーオフの設定

ボタン操作のない状態が続いたとき、本機の電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。

オフ	オートパワーオフは働きません。
1分、2分、3分、4分、5分	選んだ時間が経過すると、電源が切れます。

参考

- 録音中または再生中およびファイルの削除中／移動中は、オートパワーオフは働きません。

1 **設定メニュー画面で、VOL＋ または VOL－ で「オートパワーオフ」を選び、▶II を押します。**

設定画面が表示されます。

2 **時間などを選び、▶II を押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

スリープタイマーの設定

好みの音楽を聴きながら就寝されるときなどに便利です(再生中のみ有効です)。

オフ	スリープタイマーは働きません。
30分、45分、60分、75分、90分	選んだ時間が経過すると、電源が切れます。

参考

- 設定した時間が来る前に手動で電源を切ると、スリープタイマーは解除され、設定は「オフ」になります。

1 設定メニュー画面で、[Vol +]または[− Vol]で「スリープタイマー」を選び、[▶II]を押します。

設定画面が表示されます。

2 時間などを選び、[▶II]を押します。

設定メニュー画面に戻ります。

省電力モード

再生／録音／FM受信を行っている際に、約10秒間ボタン操作がないと、表示部の表示が消え、LEDが点灯・点滅します。

通常モード	通常のリスト画面や再生画面を表示します。
省電力モード	次のボタン操作があるまで表示部の表示が消え、LEDが点灯・点滅します。

1 **設定メニュー画面で、［Vol+］または［Vol−］で「省電力モード」を選び、［▶II］を押します。**

設定画面が表示されます。

2 **表示の種類を選び、［▶II］を押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

表示部の明るさの調整

周りの明るさに応じて見やすい位置に調整してください。

1 **設定メニュー画面で、［Vol+］または［Vol−］で「明るさ」を選び、［▶II］を押します。**

設定画面が表示されます。

2 **［Vol+］または［Vol−］で明るさを調整します。**

ボタンを押したままにすると連続して変化します。

3 **調整を終えたら［▶II］を押します。**

設定メニュー画面に戻ります。

設定をご購入時の状態に戻す（リセット）

「音楽」、「ボイス」、「FM」、「設定」の各設定がご購入時の状態に戻ります。（お気に入りリストの設定と、「続きから再生」の情報は初期化されません）

1 設定メニュー画面で、[Vol +]または[− Vol]で「設定の初期化」を選び、[▶II]を押します。

初期化画面が表示されます。

2 「初期化する」を選び、[▶II]を押します。

設定メニュー画面に戻ります。

本機の情報を確認する

本機のバージョン情報、本体メモリ・miniSDカードの情報、ファイル数などを表示します。

1 設定メニュー画面で、[Vol +]または[− Vol]で「製品情報」を選び、[▶II]を押します。

製品情報画面が表示されます。

2 [Vol +]または[− Vol]でページを切り替えます。

3 確認を終えたら、[▶II]を押します。

設定メニュー画面に戻ります。

付 録

Appendix

パソコン接続時のフォルダ構成について

本機をパソコンに接続すると、Windows上では、次のようなフォルダが保存されたリムーバブルディスクとして見えます。
本機にminiSDカードが差し込まれている場合、miniSDカードは内蔵メモリと別のリムーバブルディスクとして表示されます。



「LINE-IN」フォルダ　：ダイレクト録音した音楽データファイルが入ります。
「SYSTEM」フォルダ　：このフォルダは、本機のシステムが使用し、各種設定情報、管理情報が格納されます。
「VOICE」フォルダ　：ボイスレコーダーで録音した、録音データ（ファイル）が入ります。
「FM」フォルダ　：FM放送を録音した、録音データ（ファイル）が入ります。

これらのフォルダのなまえは変更しないでください。また、これらのフォルダに音楽データ（ファイル）を入れないでください。

音楽データが入ったフォルダや音楽データは、「音楽リスト」から選択することができます。

※Microsoft® Windows Media® Player 10 で同期をしたり、音楽CDデータ転送ソフトで転送した場合、MUSICフォルダの中に（MUSICフォルダがなければ作成してその中に）、アーティスト名フォルダが作られ、その中にアルバム名フォルダが作られて、音楽ファイルが入ります。
（音楽などを本機に取り込む方法は39ページを参照ください）

充電池について

充電池は消耗品です。充放電をくり返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。（常温で約350回が目安です）
充電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。
満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、充電池の寿命ですので交換してください。本機の充電池は、お客様では交換できませんので、同梱の「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へお申し付けください。
充電池の交換は有償となります。

廃棄するときのお願い

本機に使用しているリチウムポリマー充電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。本機の廃棄に際しては、もよりのサービス会社へお申し付けください。

ご購入直後の状態に戻したいときは

パソコンで本機の本体メモリをフォーマットします。メモリをフォーマットすると本機内のすべてのデータが消去されます。設定も初期状態に戻ります。

1 **本機とパソコンを接続します。**

2 **「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

3 **本機に該当する「リムーバブルディスク」を右クリックし、「フォーマット」を選びます。**

4 **ファイルシステムで「FAT32」を選び、[開始]をクリックします。**

参考

- 「FAT32」以外は選ばないでください。
- Windows® 98 Second Edition および Windows® Millennium Edition では、「ファイルシステム」の「FAT32」は表示されません。そのまま「開始」をクリックしてください。

5 **[閉じる]をクリックします。**

6 **本機をパソコンから取り外し、本機の電源を入れ直します。**

ご注意

- フォーマットの対象を誤ってminiSDカード側を選んだり、他のドライブをフォーマットすると、miniSDカード内の音楽データやパソコン上の大切なファイルを消すことになりますのでご注意ください。
  本機をフォーマットするときは、miniSDカードを取り出しておくことをおすすめします。

仕様

本体

形名	MP-B200	MP-B300
品名	デジタルオーディオプレーヤー	
内蔵メモリ	512MB（ユーザー領域：約465MB）	1GB（ユーザー領域：約949MB）
入出力端子	ヘッドホン端子（φ2.5）、専用ミニUSB端子（LINE-IN端子兼用）	
対応ファイル	ファイル形式 WMA、MP3	
取扱ファイル数	最大500ファイル	
取扱フォルダ数	最大50フォルダ（階層は20段まで）	
最大録音時間※1	約 10時間 （録音条件 録音音質：低（96kbps））	約 20時間 （録音条件 録音音質：低（96kbps））
FMチューナー	周波数範囲76.0～90.0MH z	
FMトランスミッター送信可能周波数	85.1MHz～88.9MHzの範囲で0.2MHz間隔で設定可能	
使用温度	0℃～40℃	
ヘッドホン最大出力	5mW	
使用電源	リチウムポリマー内蔵電池（約600mAh）	
充電時間	約4時間（ACアダプター使用時）	
消費電力	2.3W	
外形寸法	幅49mm×奥行き87.6mm×厚さ8.9mm	
質量	約 65g（電池含む）	
付属品	ACアダプター（EA-77）、ヘッドホン（3.5Φ）、ヘッドホン変換ケーブル（2.5Φ－3.5Φ）、USB対応ケーブル、LINE-INケーブル、CD-ROM、取扱説明書、クイックスタートガイド、お客様ご相談窓口のご案内	

※1： 最大録音時間はメモリのユーザー領域をすべて録音に使用した場合です。

充電1回あたりの再生可能時間・録音可能時間

	ファイル形式	可能時間 (本体メモリ)	※可能時間 (miniSDカード)	再生条件／録音条件
再生時間1 (FMトランスミッター：オフ)	MP3	約24時間	約24時間	音量：15 イコライザー：ノーマル 使用温度：25℃ 省電力モード：省電力モード 連続再生
	WMA	約19時間	約19時間	
再生時間2 (FMトランスミッター：オン)	MP3	約14時間	約14時間	
	WMA	約12時間	約12時間	
録音時間	MP3	約6時間	約6時間	録音レベル：中 録音音質：中 省電力モード： 省電力モード連続録音

- 使用環境や使用方法により、再生時間、録音時間が短くなることがあります。

※(参考値)使用するminiSDカードにより再生／録音時間が短くなることがあります。

ACアダプター(EA-77)

入力	AC100V 50/60Hz
定格出力	DC5V 500mA

付属ケーブル

USB対応ケーブル	約145cm
LINE-INケーブル	約145cm
ヘッドホン	約80cm
ヘッドホン変換ケーブル	約30cm

各モードのステレオ／モノラル録音について

	音楽(LINE-IN)	ボイスレコーダー	FMラジオ
録音チャンネル	ステレオ録音※1	モノラル録音	ステレオ録音※2

※1 外部音源がステレオ録音されているときのみ
※2 受信するFM放送がステレオ放送で、本機をステレオ受信に設定しているときのみ

各モードの録音初期設定値

	音楽(LINE-IN)	ボイスレコーダー	FMラジオ
録音音質	高	中	高
録音レベル	中	中	中
ステレオ/モノラル受信	ー	ー	ステレオ

録音音質と録音時間について

録音音質	高(128kbps)	中(112kbps)	低(96kbps)
MP-B200	約7時間30分	約8時間30分	約10時間
MP-B300	約15時間	約17時間	約20時間

- サポートページではさまざまな情報を掲載しています。下記URLにアクセスしていただきご確認ください。
  http://www.sharp.co.jp/support/mp/index.html
- ファームウェアのバージョンアップについて
  ファームウェアをバージョンアップすることで本製品の機能を改善できることがあります。
  最新の情報がないか上記のサポートページをご確認ください。

アフターサービスについて

保証について

1. この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品を製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を**お持込み**のうえ、修理をお申しつけください。
ご自分での修理はしないでください。

2. アフターサービスについてわからないことは･･･
お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

Q. 音楽データを転送した後、エラーメッセージが表示されたら?

A. 「本体メモリ(またはカード)内のフォルダの総数が制限を超えているため、全て表示できません。」と表示されたときは、フォルダ数またはファイル数が制限を超えています。以下の手順で一度転送したファイルを削除し、Windows Media® Player 10の設定を変更してから、再度音楽データを転送してください。

① 本機とパソコンの電源を入れます。

② 本機とパソコンを接続します。(31ページ)

③「マイコンピュータ」画面の本機(またはカード)に該当する「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開きます。

④「Music」フォルダをフォルダごと「ごみ箱」に入れて削除します。
「フォルダ内の全てのファイルを削除しますか?」と表示された場合は[はい]をクリックします。
誤って「VOICE」、「LINE-IN」などのフォルダを削除しないでください。削除すると、本機で録音したボイスレコーダーなどのデータが削除されます。

⑤ Windows Media® Player 10を起動します。

⑥ 画面上部の「同期」をクリックし、(プロパティと設定を表示します)をクリックします。
「リムーバブルディスクのプロパティ」画面が表示されます。



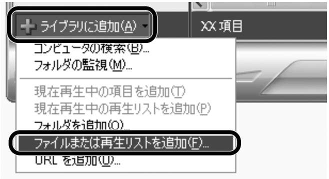
⑦「デバイスにフォルダ階層を作成する」をクリックしてチェックマークを外し、[適用]、[OK]を順にクリックします。

⑧ 再度、音楽データを転送します。

Q. 音楽配信サイトを利用したいが気をつけることは?

A. WMA形式の音楽データを配信している音楽配信サイトをご利用ください。（他形式の音楽データをWMAに変換して再生することはできません）
音楽データの検索方法や購入方法は、音楽配信サイトのヘルプ情報などをご覧ください。
購入した音楽データは、次の操作で本機に転送できます。

① Windows Media® Player 10を起動します。
② 画面上部の「ライブラリ」をクリックします。
③ 画面左下の「ライブラリに追加」をクリックし、「ファイルまたは再生リストを追加」をクリックします。
「ファイルを開く」画面が表示されます。



④ 購入した音楽データをクリックして選び、［開く］をクリックします。
選んだ音楽データがライブラリに追加されます。（画面左側の「購入した音楽」をクリックすると表示されます）
⑤「取り込んだ音楽データを本機に転送する」（52ページ）の操作をして本機に転送します。

Q. 録音データをパソコンにバックアップしたいのだが、どうすればいい?

A. 次の操作でバックアップできます。

① パソコンの電源を入れます。

② 本機とパソコンを接続します。（31ページ）

③「マイコンピュータ」画面の本機、またはminiSDカードに該当する「リムーバブルディスク」をダブルクリックして開きます。

④ 次のフォルダをパソコンの任意の場所にコピーします。

「LINE-IN」フォルダ：オーディオ機器から録音した音楽データ
「VOICE」フォルダ：ボイスレコーダーで録音した録音データ
「FM」フォルダ：FMラジオを録音した録音データ

パソコンにコピーしたファイルの日付はすべて「2007/01/01 0:00」になります。

Q. 録音データをminiSDカードにバックアップしたいのだが、どうすればいい?

A. 本機に保存されている録音データをminiSDカードに移動してください。（74ページ、88ページ、101ページ）

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、117ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない	• 充電していますか? 充電してから電源を入れてください。（18ページ）
自動的に表示が消える	• 省電力モードに設定されていませんか？ （107ページ）
ボタンを押しても動作しない。	• HOLD/POWER がホールド側になっていませんか？ ホールド側になっていると他のボタンが動きません。
音が出ない	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ • 音量が最小になっていませんか？ • 転送したデータのファイル形式は正しいですか？ （64ページ） • 著作権違反のデータではありませんか？ 曲の入手元、本機への転送手段を確認してください。 （39ページ）

こんなときは	ここをお確かめください
録音できない	• メモリ残量が不足状態になっていませんか？ 不要なデータを削除してください。
FM放送を受信しにくい	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか? • ヘッドホンのコードは伸ばして置いていますか? • FM放送を妨害するような電波を発生するもの(電気機器)が近くにありませんか? • FM放送を遮断するような障害物がありませんか? アンテナ(ヘッドホン)の方向を変えてみてください。
FMトランスミッターで送信できない	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ • ヘッドホンのコードは伸ばして置いていますか? • 付属のヘッドホンを使用していますか？ • ヘッドホンとFM受信機の位置は適切ですか？ ヘッドホンとFM受信機のアンテナの方向を平行にし、近づけてください。 • FMトランスミッターは「オン」になっていますか？ • 妨害電波を発生するものが近くにありませんか？ • 本機の音量は適切になっていますか？ • FM電波を遮断するような障害物がありませんか？ アンテナ(ヘッドホン)の方向を変えてみてください。

こんなときは	ここをお確かめください
FMトランスミッターで送信できない（つづき）	• 本機のFMトランスミッター送信レベルは、電波法で規定された微弱電波になっています。受信しているFM受信機を、より感度の高いものに変えてみてください。 また、本機とFM受信機は、できるだけ近づけてください。 • FM受信機のノイズ除去機能が働いていませんか？ 別のFM受信機で試してみてください。 • FM放送局に近い周波数を選んでいませんか？ 送信／受信周波数を変えて、影響の少ない周波数を選んでください。
FMトランスミッター送信でノイズ音が発生する	• ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？ • FM電波を妨害するような電波発生機器や電波を遮断するようなものがありませんか？ アンテナ（ヘッドホン）の方向を変えてみてください。 • 金属に近づけたり、金属の机の上に置いていませんか？
FMトランスミッター送信で音がきこえない/音がひずむ	• 本機の音量が小さい／大きい可能性があります。

こんなときは	ここをお確かめください
Microsoft® Windows Media® Player 10で音楽データが同期できない	● 付属のUSB対応ケーブルが正しく接続されていますか？ ● パソコン側でMicrosoft® Windows Media® Player 10が正しく動作して本機を認識していますか？ パソコンを再起動し、本機を接続してみてください。 Microsoft® Windows Media® Player 10が正しくインストールできているか確認してください。 ● メモリ残量が不足状態になっていませんか? 不要なデータを削除してください。
音楽データを正常に再生できない	● パソコンに接続し、メモリをフォーマットしてください。（113ページ） ● 音楽CDデータ転送ソフトやMicrosoft® Windows Media® Player 10を使用せずにコピーしていませんか？ 同期によるコピーでないと、著作権保護されている音楽データは再生されません。
「本体メモリ（またはカード）内のフォルダ（またはファイル）の総数が制限を超えているため、全て表示できません。」というメッセージが表示され、全ての曲が表示されない	● 音楽の転送などを行ったあとに表示された場合は、フォルダ数またはファイル数が制限を超えています。 不要なフォルダまたはファイルを削除してください。 制限値：フォルダ数　50フォルダ ファイル数　500ファイル 上記の制限値を超えるとエラーになります。

こんなときは	ここをお確かめください
外部機器から録音すると、音が小さい／ひずむ	• 音が小さい場合や、大きすぎて音がひずむ場合は本機の録音レベルを調整してみてください。（59ページ） • それでも適正な録音ができないときは、外部機器のヘッドホン端子など、他の出力端子を使用してみてください。 また外部機器の音量を少し小さめに調節してみてください。
パソコンに本機を接続しても認識されない	• 一度外して、再度接続してみてください。 • OSがWindows® 98 Second Edition の場合は、USB対応ドライバをインストールしてください。（34ページ）

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなど、ごくまれにすべてのボタンが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。
このときは、本機の裏面にある**RESET**（リセット）スイッチをボールペンなどで押して離したあと、電源を入れ直してください。

MEMO

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。
   なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
   (イ) 本書のご提示がない場合。
   (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   (ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   (ホ) 火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
   (ヘ) 電池の液もれによる故障・損傷。
   (ト) 消耗品(充電池)が損耗し取り替えを要する場合。
   (チ) 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合、出張料はお客様のご負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋(メールパック：文具店などでお求めいただけます)などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

修理メモ

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター

フリーダイヤル **0120-303-909**

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

	（TEL）	（FAX）
東日本相談室	043-351-1822	043-299-8280
西日本相談室	06-6792-1583	06-6792-5993

《受付時間》　（年末年始を除く）

月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時

● 修理のご相談は‥

製品に付属の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ

http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　　社　〒 545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒 639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA

06DSB(TINSJ1261EHZZ)